

平成 28 年度 事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

平成 29 年 6 月

目 次

平成 28 年度事業の主な成果指標	P 1
平成 28 年度事業報告書	P 4
1 【知る】情報発信・分析	
1 広報事業	《浜松市委託・自主財源》 P 4
2 【解く】相談・コンシェルジュ	
2 相談事業（専門家派遣事業含む）	《浜松市委託》 P 7
3 【新規】企業訪問事業	《浜松市委託》 P 8
4 研究会推進事業	《地域企業受託》 P 9
3 【学ぶ】人材育成支援	
5 【新規】新素材・新技術講座	《浜松市委託》 P 12
6 製造中核人材育成事業	《浜松市委託》 P 14
7 【新規】現場力向上人材育成事業	《浜松市委託・自主財源》 P 17
8 自社製品開発事業	《浜松市委託》 P 21
9 浜松ものづくりマイスター推進事業	《浜松市委託》 P 24
4 【興す】創業・第二創業支援	
10 創業・新事業展開事業	《自主財源》 P 27
11 半田山TBG活用運営事業	《自主財源》 P 29
12 債務保証事業	《自主財源》 P 30
5 【活かす】知財総合支援	
13 知的財産に関する相談、講演会、講習会	《浜松市委託》 P 32
14 「はままつ知財研究会」との連携	《他機関受託》 P 35
15 特許等出願支援補助金事業	《浜松市委託》 P 37
16 特許流通支援事業	《静岡県補助》 P 39
17 【新規】産学官知財連携推進事業	《浜松市委託》 P 40
6 【創る】新事業開発支援	
18 【新規】オープンイノベーション浜松創出支援事業	《浜松市委託》 P 41
19 新産業創成事業	《浜松市委託・自主財源》 P 43
20 地域イノベーション戦略推進事業	《国・事業参加負担金》 P 48
21 国等の研究開発事業化支援事業	《国委託・国補助》 P 54
22 競争的資金等獲得支援事業	《浜松市委託》 P 55
23 はままつ次世代光・健康医療産業創 業	《自主財源》 P 56
24 地域産業活性化支援事業	《自主財源》 P 57
静岡県中小企業融資制度及び新規産業立地事業費補助金	《自主財源》 P 59

7 【拓く】販路開拓支援

25	ものづくり販路開拓支援事業	《浜松市委託》	P 60
26	浜松地域販路開拓・マッチング支援事業	《自主財源》	P 63
27	海外ビジネス展開支援事業	《浜松市委託》	P 65
28	地場産業振興事業	《自主財源》	P 68

平成 28 年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
製品化・事業化件数	31 件	35 件	30 件

◎事業別成果指標

1 広報事業

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
ホームページアクセス件数	45,836 件	53,781 件	60,000 件
メールマガジン配信登録件数	2,018 件	2,225 件	2,100 件

2 相談事業

(相談)

相談項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
技術相談件数	100 件	469 件	—
経営相談件数	722 件	834 件	—
知財相談件数	733 件	766 件	—
相談業務総件数	1,555 件	2,069 件	1,200 件

(専門家派遣事業)

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
実施企業数	22 社	24 社	25 社
専門家の総合評価	4.6	4.4	4.5

(企業訪問事業)

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
企業訪問件数 ①単独訪問	—	978 件	1,000 件
企業訪問件数 ②キャラバン訪問	—	104 件	50 件
新規顧客数	—	326 社	400 社

3 人材育成事業

(新素材・新技術講座) (製造中核人材育成講座) (現場力向上人材育成講座)

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
新素材・新技術講座受講者数	平均 16 名	261 名	200 名以上
新素材・新技術講座受講者満足度	80%	99%	90%以上
製造中核人材講座受講者数	26 名	29 名	25 名以上

製造中核人材講座受講者満足度	100%	100%	90%以上
現場力向上人材育成講座受講者数	—	492 名	450 名以上
現場力向上人材育成講座満足度	—	98%	90%以上

(自社製品開発事業)

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	4 件	10 件	5 件
ビジネスコンテスト応募件数	—	1 件	3 件

4 創業・新事業展開事業

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
創業者件数	47 件	73 件	35 件
相談件数	588 件	1,023 件	400 件

※成果指標数は、はままつ起業家カフェ対応実績分

※浜松市創業支援事業計画における、平成 28 年度年間創業者目標件数は 105 件

5 知的財産活用推進事業

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
相談対応件数	711 件	745 件	650 件
企業訪問件数	100 件	113 件	80 件

※静岡県発明協会の知財総合支援窓口担当による相談件数を含む

※目標件数は、静岡県発明協会が特許庁に届けた件数

6 オープンイノベーション浜松創出支援事業

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
マッチング件数	—	24 件	3 件
補助金提案採択件数	—	1 件	4 件

7 地域イノベーション戦略推進事業（浜松・東三河ライフフोटニクスイノベーション）

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
特許等出願数	144 件	139 件	177 件
査読論文数	1,278 件	1,365 件	1,440 件
参画企業数	105 件	130 社	50 社
新規雇用者数	107 名	88 名	55 名
事業化数	112 件	117 件	65 件

8 国等の研究開発事業化支援事業（「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」）

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
サポイン提案採択件数	1 件	1 件	3 件

9 ものづくり販路開拓支援事業

地域	項目	実績		目標
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
国内	出展社数	32 社	31 社	30 社
	商談成立件数	37 件	52 件	10 件
海外	出展社数	2 社	5 社	4 社
	商談成立件数	1 件	5 件	4 件

10 浜松地域販路開拓・マッチング支援事業

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
出展社数	一件	38 社	50 社
商談成立件数	一件	1 件	5 件

※成果指標は、特定メーカー向け商談会の実績

※平成 27 年度は事業を実施していないため実績なし

11 地場産業振興事業

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
ハマツ・コレクション事業サンプル依頼件数※	945 件	858 件	1,500 件
マーケティング支援事業サンプル依頼件数	113 件	267 件	100 件
バイクのふるさと浜松来場者数	22,000 名	22,500 名	24,000 名

※プレミアムテキスタイルジャパンとギフトショー、遠州織物コレクションの合計数値

平成28年度事業報告書

※金額はH28年度決算額、()内はH28年度最終予算額、<>内は財源

1【知る】情報発信・分析

1 広報事業

決算額 2,547,277 円（予算額 2,550 千円）＜浜松市委託＞

決算額 205,296 円（予算額 200 千円）＜自主財源＞

【目的】

中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに提供することにより地域産業を支援する。また、地域企業の情報を他地域へ発信することにより、浜松地域の産業集積と技術力の高さを広くアピールし、地域企業の取引やマッチングの促進に寄与する。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信した。紙媒体ツールとしては財団紹介パンフレットの更新及び新たに支援施策ガイドなどを作成して情報発信の強化を図った。

ア メールマガジンの配信

配信日：毎月第1、3水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関からの支援メニューなど

イ 財団紹介パンフレットの発行（年度更新）

発行日：平成28年6月2日（木）

部 数：6,000部（英語版：1,000部）

規 格：A4サイズ、4頁

内 容：財団の業務全般、概要、組織図など

ウ 支援施策ガイドの発行

発行日：平成28年4月1日（金）（増刷：平成28年7月1日（金））

部 数：2,000部（増刷：1,500部）

規 格：A4サイズ、20頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

エ 浜松商工会議所 NEWing 折込み

発行日：平成28年4月1日（金）

部 数：16,000部

規 格：A4サイズ、2頁

内 容：財団の支援施策など

オ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

委託業務期間：平成28年12月9日（金）～平成29年3月31日（金）

- 改修内容 : [ホームページ]
- ・スマートフォン対応
 - ・地域企業紹介、企業支援成果事例ページの新設
 - ・トップページのデザイン変更（求める情報を探しやすく）
- [メールマガジン]
- ・カテゴライズ送信システム（地域、支援メニューなど）

(2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（帝国データバンクの企業情報と当財団コーディネーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業のニーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などを進める。

また、企業アンケート調査を実施し、支援策のブラッシュアップにつなげるとともに、収集した情報のデータベース化に取り組んだ。

ア 企業概要システム（企業情報データベース）の改修

委託業務期間：平成 28 年 12 月 6 日（火）～平成 29 年 2 月 28 日（火）

- 改修内容 : ・企業訪問事業で得られた地域企業情報等を企業概要システムで一括管理
- ・企業間マッチングのための地域企業検索機能の追加

(3) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の 7 つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局を担い、毎月定例のワーキング会議において中小企業支援等の情報共有や事業連携を推進した。

[参加団体] 浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独) 中小企業基盤整備機構関東本部浜松イノベーションキューブ、日本貿易振興機構浜松貿易情報センター（JETRO 浜松）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
ホームページアクセス件数	45,836 件	53,781 件	60,000 件
メールマガジン配信登録件数	2,018 件	2,225 件	2,100 件

【年度総括】

平成 28 年度当初に広報発信事業の新たな試みとして「支援施策ガイド」「浜松商工会議所 NEWing 折込みチラシ」を発行し、地域企業に当財団の平成 28 年度の支援メニューを中心に情報発信した。特に「支援施策ガイド」は、地域中小企業が比較的活用しやすい当財団以外（国・県・市をはじめ、地域の他支援機関）の支援情報まで網羅しているため、企業訪問事業の営業ツールなどとして積極的に活用しており、第 2 四半期（7 月）には増刷対応を行った。

各種補助金制度、人材育成講座などへの応募状況は、年度当初から軒並み定員を超えていることから、情報発信強化の成果が出てきていると思われる。

成果指標のホームページアクセス数は、昨年度より 1 割増えているが目標達成には至らなかった。それらを踏まえ、お客様に伝わる・気になるホームページへのリ

リニューアルを進めるとともに、企業訪問事業で新たに蓄積された企業情報の一元管理と蓄積された情報の利活用を図るため、企業情報システムの改修を進め、平成 29 年度以降に向けたさらなる情報発信力の強化と企業情報活用のための基盤構築を図ることに努めた。

平成 29 年度は、リニューアルした HP や企業情報システムを最大限有効活用し、地域の産業支援機関としての存在感や求心力を高めた情報発信を目指していく。

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 3,512,106 円（予算額 4,300 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合などが抱える経営、技術、人材、情報、知財等の種々の問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより、中小企業者などの成長及び発展を促進する。

【実施内容】

種々の問題を抱える中小企業者などに対して、当財団のコーディネーターが相談に応じる。また、専門的知識と実務経験を要する相談に対しては、相談内容やニーズに即した有資格者などを専門家アドバイザーとして派遣した。

(1) 各種相談

項目		H27 (件)	対前年比 (H28/H27)	H28 (件)
技術相談	技術開発	19	689.4%	131
	人材	3	366.6%	11
	その他	78	419.2%	327
	小計	100	469.0%	469
経営相談	資金	13	23.0%	3
	創業	36	11.1%	4
	販路開拓	180	107.7%	194
	新事業展開	63	98.4%	62
	海外進出・海外事業展開	90	80.0%	72
	補助金・競争的資金	79	106.3%	84
	広報・宣伝	9	1444.4%	130
	法令・専門家派遣等	147	79.5%	117
	事業計画・計画改善	6	33.3%	2
	その他	99	167.6%	166
	小計	722	115.5%	834
知財相談	技術移転	5	180.0%	9
	特許	379	95.5%	362
	実用新案	21	119.0%	25
	意匠	50	62.0%	31
	商標	222	120.7%	268
	ノウハウ	7	228.5%	16
	社内体制	3	400.0%	12
	その他	46	93.4%	43
	小計	733	104.5%	766
相談総件数		1,555	133.0%	2,069

(2) 専門家派遣事業

分 野	平成 27 年度		平成 28 年度	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経 営	19 社	88 回	19 社	86 回
技 術	3 社	15 回	5 社	20 回
知 財	0 社	0 回	0 社	0 回
合 計	22 社	103 回	24 社	106 回

【成果指標】

項目（5段階）	実績（平均値）		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
企業数（報告書受）	22 社	24 社	25 社
①専門家の助言内容	4.5	4.4	4.5
②専門家の姿勢	4.8	4.7	4.5
③専門家とのマッチング	4.5	4.2	4.5
④専門家の助言のわかりやすさ	4.5	4.5	4.5
⑤専門家の助言の進め方	4.5	4.2	4.5
⑥専門家の総合評価	4.6	4.4	4.5

【年度総括】

相談事業によって地域の市場動向や中小企業者などが抱える課題等を常に最新の状態で把握することができ、それらの情報を活かしながら、地域企業の課題解決のために財団のコーディネーターが日々活動している。平成 28 年度の相談内容は、経営相談では「販路開拓」「補助金・競争的資金」「海外展開」、知財相談では「特許」「商標」が多く、特に企業訪問事業の推進により、経営相談の広報活動の数字が大きく増えている。

また、企業訪問事業と相談業務の中核を担う専門家派遣事業を連動して、財団のコーディネーターが専門家派遣の必要性を見極めながら有効活用し、地域の中小企業の経営改善から新事業の構築、販路開拓支援による出口戦略までを見据えた総合的な支援を引き続き推進した。

※企業訪問事業による専門家派遣事業の活用実績：8 件

3 【新規】企業訪問事業

決算額 471,261 円（予算額 550 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者などが抱える経営・技術・人材・情報・知財などの課題に対して、本財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、「川崎モデル」と称されるキャラバン隊形式のように、積極的できめ細かな訪問活動を通じて企業の現状・ニーズを把握し、適切な助言を行うことにより、成長及び発展を促進する。

【実施内容】

専ら企業訪問を企画して先導するプロパースタッフを選任し、浜松地域の中小企業者などに対して、財団コーディネーター等を中心としたプロジェクトチームによるきめ細かい企業訪問（御用聞き）を実施した。

訪問を通じて、企業が抱える課題の把握と解決に取り組むとともに、支援ニーズの聞き取りを行い、地域産業の現状を見える化し、施策立案につなげた。

企業訪問の手法としては、初回はコーディネーターを中心とした単独での訪問による御用聞きを実施し、訪問企業の状況に応じてコーディネーターの目利きにより地域の産業支援機関と連携したチームにて再度訪問した。また、飛び込み営業による顧客開拓や産業支援機関・金融機関への巡回を通じた情報共有や連携支援に努めた。

また、訪問先は今後の地域産業を牽引する中堅企業をはじめ、成長分野に挑戦している企業や新事業展開に取り組む企業などをターゲットとし、隠れた実力企業の掘り起こしや新規顧客の開拓を狙った。

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
企業訪問件数 ①単独訪問	—	978 件	1,000 件
企業訪問件数 ②キャラバン訪問	—	104 件	50 件
新規顧客数	—	326 社	400 社

【年度総括】

平成 28 年度より、浜松地域の中小企業の実態把握及び財団 PR を目的に本事業をスタートさせた。第 1 四半期 185 件、第 2 四半期 212 件、第 3 四半期には 341 件の企業訪問を実施し、新しく財団施策メニューを活用した新規企業も顧客に加わり、少しずつではあるが財団の PR につながっていると思われる。

また、財団経営・技術・知財 CD や浜松市、地域支援機関（ジェトロ・県工技センター等）とのキャラバン隊訪問は、平成 28 年度 104 件実施し、中小企業の技術課題などに対して迅速に対応した。

平成 29 年度も、地域企業への訪問を実施することで、地域企業のニーズやシーズの蓄積を行い、浜松地域製造業の現状や特徴をデータベース化し、財団 CD によるマッチングを創出するとともに、地域企業にとって役立つ新たな支援メニューの開発につなげていく。

※企業訪問事業による事業活用成果

- ・ 専門家派遣事業の活用実績：8 件
- ・ ものづくり販路開拓支援事業：1 件
- ・ 国内特許等出願支援事業費補助金：2 件
- ・ 海外特許等出願支援事業費補助金：1 件
- ・ 国内事業化可能性調査費補助金（国内 FS）：3 件
- ・ 海外展開事業化可能性調査費補助金（海外 FS）：4 件
- ・ はままつ自社製品開発スクール：3 件
- ・ ものづくり流れ改善講座：1 件

4 研究会推進事業

決算額 — 千円（予算額 — 千円）＜地域企業受託＞

※研究会費の 2 割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、セミナー、講座等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓などの研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の7つの研究会において、財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ（会員数：32 社）

<総会>

開催日：平成28年4月14日（木）

会 場：榊呉竹荘

出席者：会員27社

<事業内容>

講演会 2回（うち公開1回） ▶実施済み

視察会 1回 ▶実施済み

イ 浜松技術交流プラザ82（会員数：17 社）

<総会>

開催日：平成28年4月19日（火）

会 場：榊呉竹荘

出席者：会員9社

<事業内容>

講演会 3回（うち公開3回） ▶実施済み

視察会 1回 ▶実施済み

ウ 都田アソシエイツ（会員数：53 社）

<総会>

開催日：平成28年7月22日（金）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

出席者：会員15社

<事業内容>

講演会 2回（うち公開2回） ▶実施済み

視察会 4回 ▶実施済み

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC 研究委員会（会員数：16 社）

<総会>

開催日：平成28年7月15日（金）

会 場：オークラアクトシティ浜松

出席者：会員11社

<事業内容>

講演会 2回（うち公開2回） ▶実施済み

視察会 1回 ▶実施済み

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：32 社）

<総会>

開催日：平成28年5月17日（火）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

出席者：会員24社

<事業内容>

講演会 3回（うち公開3回） ▶実施済み

視察会 2回 ▶実施済み

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人42社、個人19名）

<総会>

開催日：平成28年5月25日（水）

会 場：榑呉竹荘

出席者：会員30社

<事業内容>

講演会 2回（うち公開2回） ▶実施済み

視察会 5回（うち公開1回） ▶実施済み

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人22社・個人1名 学校3校）

<総会>

開催日：平成28年5月10日（火）

会 場：オークラアクトシティ浜松

出席者：会員17社

<事業内容>

講演会 4回 ▶実施済み

【年度総括】

平成28年度も昨年度同様、地域企業受託事業である7つの研究会を4月からスタートさせた。年度当初には、各研究会にて平成28年度総会を開催し、平成27年度事業・決算報告及び平成28年度事業・予算計画を会員企業に報告した。

今年度は、各研究会が実施する講演会や視察会の充実を図るとともに、各研究会との連携事業を行い、より充実した内容の事業展開を実施してきた。

平成29年度も、各研究会の事業方針及び事業計画に沿った事業（講演会など）の企画や運営サポートを会員企業とともに実施していく。

3【学ぶ】人材育成支援

5 【新規】新素材・新技術講座

決算額 1,432,939 円（予算額 1,500 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

従来技術の高度化や新事業に取り組みたい中小企業の技術者を対象とし、新素材や新技術に対応するための実践的な基礎講座を開催することにより応用力のある技術者を育成し、地域のレベルアップにつなげる。

【実施内容】

技術の高度化や新事業展開に意欲のある中小企業の技術者に対して、軽量素材やパワエレ、設計、計測、制御などに関する基礎技術の講座を開催した。

(1) デジタルものづくり導入セミナー

開催日：平成 28 年 10 月 18 日（火）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：講師／関ものづくり研究所（浜松市北区） 代表 関 伸一 氏

演題／IoT 時代のデジタルエンジニアリング再考

講師／中辻金型工業(株)（大阪府東大阪市） 総括部長 戸屋 加代 氏

演題／小さな金型会社でのデジタルエンジニアリング実践

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：50 社 67 名（定員：70 名、申込 81 名）

[市内] 企業 38 社 55 名 [市外] 企業 12 社 12 名

フォローアップ：デジタルエンジニアリングを社内へ導入予定である(株)アサヒピー.エム（浜松市南区）に対して、個別アドバイザー派遣を 5 回実施。講師のアドバイスを基に 3DCAD/CAM を導入。さらに平成 29 年度より新たにオペレーター1人を雇用し、社内のデジタル化を推進する。

(2) 軽量化のための新素材講座（全 2 回）

ア 中小企業のための自動車軽量化対応セミナー

開催日：平成 29 年 2 月 27 日（月）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：講師／日産自動車(株)（神奈川県横浜市） 要素技術開発本部

車体技術開発部 シニアエンジニア 千葉 晃司 氏

演題／車体軽量化への取組みと、異種材料接合の最新動向

講師／（一社）中部産業連盟（愛知県名古屋市）

コンサルティング事業部 コンサルタント 野村 佳伸 氏

演題／中小部品・加工メーカーの軽量化技術開発の事例紹介

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：53 社 77 名（定員：70 名、申込：87 名）

[市内] 企業 41 社 55 名、行政・産業支援機関 3 社 3 名

[市外] 企業 12 社 22 名

イ 1 日で良く分かる！アルミ加工基礎講座

開催日：平成 29 年 3 月 10 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：ヤマハ発動機(株)（磐田市） 材料技術部 栗本 幸広 氏

内 容： アルミ概論、アルミ加工の基礎、アルミの今後の展望

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：49 社 88 名（定員：25 名、申込：93 名）

[市内] 企業 42 社 81 名 [市外] 企業 7 社 7 名

(3) パワーエレクトロニクス技術講座（全 4 回）

開催日：平成 28 年 11 月 4 日（金）、11 日（金）、18 日（金）、25 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：静岡大学 総合科学技術研究科 工学専攻 学術院 工学領域

電気電子工学コース 教授 野口 季彦 氏

内 容：パワーエレクトロニクスのための電気工学の基礎、概要、電力用半導体素子と実装技術、インバータの基礎と制御法、応用事例、シミュレーション（演習）

受講料：[市内] 6,000 円、[市外] 12,000 円

参加者：11 社 13 名（定員：20 名、申込：13 名）

[市内] 企業 8 社 9 名 [市外] 企業 3 社 4 名

(4) 小さなことから始める IoT 体験講座（全 2 回）

開催日：平成 29 年 2 月 10 日（金）、17 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：IWAY.JP 代表 井村 博 氏

内 容：IoT に対応したアンドロイド／温度計測器の作成体験

受講料：[市内] 10,000 円、[市外] 20,000 円

参加者：15 社 16 名（定員：15 名、申込：21 名）

[市内] 企業 11 社 12 名 [市外] 企業 4 社 4 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
講座受講者数	平均 16 名	261 名	200 名以上
講座受講者満足度	80%	99%	90%以上

【年度総括】

平成 28 年度は、昨年度個別に行われていた「新素材技術講座」「3 次元デジタル技術講座」「パワーエレクトロニクス技術講座」を一つに集約し、「新素材・新技術講座」としてスタートした。各講座、軒並み定員を超えており、かつ満足度も高かった。

[デジタルものづくり導入セミナー]

中小企業はデジタルエンジニアリング分野の情報が不足しているため、地域企業のデジタル化に繋がる有効な情報提供ができたと思われる。アンケートの満足度も高かった。

[小さなことから始める IoT 体験講座]

公募開始 2 日で、定員を超える申し込みがあった。概論的な講義だけでなく、ラズベリーパイを使用して具体的な導入方法を体験する講座であったことが要因と考えている。

[アルミ加工基礎講座]

定員 25 名に対し、93 名の申込があった。輸送機器の軽量化対応として新素材が注目を集めているが、従来から使用しているアルミ加工を課題としている企業が想像

以上に多いことが確認できた。

平成 29 年度も引き続き、地域課題や地域ニーズに即した最新技術の情報提供を行い、新たな研究開発テーマの提供や、新産業創出を支援していく。

6 製造中核人材育成事業

決算額 2,790,598 円（予算額 3,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程などを見通せるような現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習をセットにしたスタイルで講座を開催した。

ア 講座

開催日：平成 28 年 5 月 25 日（水）～ 11 月 22 日（火） 全 24 回実施

会 場：グラントホテル浜松、スズキ歴史館（浜松市南区）、新日鐵住金(株)名古屋製鉄所（愛知県東海市）、ヤマハ発動機(株)（磐田市）、(株)木村鋳造所（御前崎市）、イオインダストリー(株)（湖西市）、(株)クリアテック（磐田市）、浜松工業技術支援センター（浜松市北区）、スズキ(株)相良工場（御前崎市）、ポリテクカレッジ浜松（浜松市南区）、西誠(株)（浜松市西 区）、浜松熱処理工業(株)（浜松市南区）、(株)豊田自動織機（愛知県刈谷市）、(株)オーミ（磐田市）、神谷理研(株)西テクノ工場（浜松市西区）、(株)丸山コーポレーション（浜松市南区）、岡本プレス工業(株)（浜松市中区）、浜松テクノカレッジ（浜松市東区）、(株)エム・エス・ケー（浜松市浜北区）、大日工業(株)（静岡市）、ハマニ化成(株)（浜松市西区）、ホテルクラウンパレス浜松

受講料：[市内] 50,000 円、[市外] 100,000 円

参加者：29 社 29 名（定員：25 名、申込：39 名）

[市内] 企業 25 社 25 名、[市外] 企業 4 社 4 名

（講座内容）

開催日	内 容	講 師
5 月 25 日（水）	開講式	
	講演①「スズキのものづくりと海外進出」	スズキ(株) 生産技術本部 副本部長 羽田 芳智 氏
	講演②「ヤマハ発動機のものづくり 魅力品質創出と現場標準装備のコラボレーション」	ヤマハ発動機(株) 生産技術部長 木村 嘉浩 氏
	懇親会（受講生＋上司の方）	
6 月 1 日（水）	輸送機器ものづくり概論	スズキ(株) 技術教育課長 宮井 研二 氏
6 月 9 日（木）	金属・材料概論	新日鐵住金(株) 技術開発本部 名古屋技術研究部 主幹研究員
	製鉄現場見学	東 昌史 氏

6月16日(木)	鋳造概論	ヤマハ発動機(株)エンジンユニット コンポーネント統括部 ユニット技術部長 橘内 透 氏
	組立工場見学、鋳造工場見学	
6月22日(水)	【新設】5S 概論	(株)木村鋳造所 執行役員 御前崎工場長 梶原道哉 氏
	工場見学	
6月29日(水)	樹脂成形概論	イオインダストリー(株) 技術グループ 開発室 室長 松下 義幸 氏
	樹脂成形工場見学	
	受講生交流会	
7月7日(木)	鍛造概論	浜松工業技術支援センター 光科 鷲坂 芳弘 氏
	組織概論	
	設備見学	浜松工業技術支援センター 材料科 科長 伊藤 芳典 氏
7月12日(火)	鍛造概論	(株)クリアテック 代表取締役 石田 均 氏
	鍛造現場見学	
7月20日(水)	板材成形概論	スズキ(株) 生産技術本部 第二生産技術部 プレス課 係長 鈴木 俊通 氏
	輸送用機器完成車工程 工場見学	
	受講生交流会	
7月27日(水)	切削概論	ヤマハ発動機(株) 生産技術部 機械加工技術グループ グループリーダー 酒井 健司 氏
	切削現場見学	
8月4日(木)	現場マネージャーの心得① (講義)	関ものづくり研究所(浜松市北区) 代表 関 伸一 氏
	現場マネージャーの心得① (ディスカッション)	
8月9日(火)	現場マネージャーの心得② 現場改善・人材育成現場見学	(株)豊田自動織機 高浜工場
8月25日(木)	熱処理概論	浜松熱処理工業(株) 技術部 開発グループ 杉山 京司 氏
	熱処理現場見学	
8月31日(水)	金型概論	(株)オーミ 取締役専務 大平 晃裕 氏
	現場見学	
9月8日(木)	めっき・表面処理概論	神谷理研(株) 代表取締役専務 神谷 武彦 氏
	めっき・表面処理 現場視察	
9月15日(木)	塗装概論	ヤマハ発動機(株) PF 車両ユニット コンポーネント統括部 ユニット技術部 カラーリンググループ グループリーダー

		村木 宏行 氏
	塗装現場見学	(株)丸山コーポレーション 専務取締役 田村 啓太郎 氏
9 月 27 日 (火)	溶接現場実習	岡本プレス工業(株) 技術部 専門職 安間 久雄 氏
10 月 4 日 (火)	溶接概論 (講義) + 溶接実習	(有)岩倉溶接工業所 (島田市) 代表取締役 岩倉 正雄 氏
10 月 13 日 (木)	機械加工実習 1 日目 フライス盤、旋盤、施設見学	ポリテクカレッジ浜松
10 月 20 日 (木)	機械加工実習 2 日目 フライス盤、旋盤、施設見学	ポリテクカレッジ浜松
10 月 27 日 (木)	【新設】3D プリンタ概論、現場見学	(株)エム・エス・ケー 代表取締役 松浦 譲 氏
11 月 8 日 (火)	【新設】電子部品製造現場見学	大日工業(株)
11 月 15 日 (火)	【新設】内装品製造現場見学	ハマニ化成(株)
11 月 22 日 (火)	修了式	
	公開講演①「自動車産業の構造変革に対して部品メーカーが選択すべき戦略は何か」 【個別相談会】	(一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏
	公開講演②「製造業はサービス業だ！」おもてなしの心で、常に進化するものづくりにチャレンジ	(株)浜野製作所 (東京都墨田区) 代表取締役 浜野 慶一 氏
	交流会	

イ 修了式基調講演会 (公開)

開催日：平成 28 年 11 月 22 日 (火)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：講師／(一社)日本自動車部品工業会 (東京都港区)

技術担当顧問 松島 正秀 氏

演題／自動車産業の構造変革に対して部品メーカーが選択すべき戦略は何か

講師／(株)浜野製作所 (東京都墨田区) 代表取締役 浜野 慶一 氏

演題／「製造業はサービス業だ！」おもてなしの心で、常に進化するものづくりにチャレンジ

受講料：[市内] 無料 [市外] 1,000 円

参加者：72 社 98 名 (定員：100 名、申込：140 名)

[市内] 企業 64 社 86 名、行政・産業支援機関 4 社 4 名

[市外] 企業 8 社 12 名、行政・産業支援機関 2 機関 5 名

個別相談会：3 社

ウ フォローアップ講座、見学会

開催日：平成 29 年 1 月 25 日（水）
対 象：平成 28 年度受講生、過去受講企業
会 場：トクラス(株)（浜松市西区）
内 容：トクラス生産システム、人材育成の取り組み
特別講義「独創力はどうすれば身に付くのか!?!」
講師／トクラス(株) 元取締役執行役員 澤井 隆治 氏
受講料：〔市内〕 1,000 円 〔市外〕 2,000 円
参加者：21 社 21 名（定員：35 名、申込：22 名）
〔市内〕 企業 19 社 19 名 〔市外〕 企業 2 社 2 名

エ 平成 28 年度製造中核人材育成講座運営委員会

開催日：平成 28 年 12 月 20 日（火）
会 場：浜松商工会議所会館
内 容：平成 28 年度製造中核人材育成講座 活動報告

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
講座受講者数	26 名	29 名	25 名以上
講座受講者満足度	100%	100%	90%以上

【年度総括】

平成 28 年度は、運営委員の意見を参考に「5S 概論」「3D プリンター概論・現場見学」「電子部品製造現場見学」「内装品製造現場見学」のカリキュラムを新設した。

本年度は 31 社 39 名より申し込みがあり（対前年 150%増）、その内 29 社 29 名が受講した。平成 27 年度の修了式を公開講演にしたことや、企業訪問事業との連携効果により、申込者数が増加したと思われる。それにより、受講企業の固定化も課題とされていたが、新規参加企業が平成 27 年度の 8 社から 11 社と増加し、改善が図られた。

そのほか、交流会の開催や受講者間の SNS グループ活用など、受講者の相互交流促進を図ったことにより、14 件の受講企業同士のマッチングに繋がっている。

以上の取り組みにより「大変参考になった 96%（アンケートより）」という高い満足度に繋がり、浜松地域の未来を担う若手技術者育成が図られた。

今後も継続して受講企業への訪問活動を行い、財団支援メニューの活用を促すことで、総合的なフォローアップに努める。

7 【新規】現場力向上人材育成事業

決算額 1,689,681 円（予算額 1,700 千円）＜浜松市委託＞
決算額 56,716 円（予算額 250 千円）＜自主財源＞

【目的】

生産性向上などの現場力強化に必要な直接部門・間接部門の現場改善を体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

【実施内容】

現場力向上に必要な下記4講座を開催した。また、「ものづくり現場の改善に向けた講座」については、参加者フォローアップとして、参加企業にアドバイザー派遣を実施し、現場改善の支援を行った。

(1) 事業継続計画（BCP）策定・運用の講座

ア 特別講演、セミナー

開催日：平成28年6月7日（火）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：＜特別講演＞

講師／経済産業省大臣官房調査統計グループ 鉱工業動態統計室

企画調整二係長 田中 幸仁 氏

演題／「人口減少・高齢化社会に備えた現場力強化の必要性」

＜セミナー＞

講師／㈱サイトウ製作所（東京都板橋区）

代表取締役社長 齋藤 智義 氏

㈱松本精機（東京都板橋区） 代表取締役 鈴木 敏文 氏

事例報告／「東日本大震災で宮城工場の被災を経験して」

「神戸の震災での代替生産を経験して」

講師／静岡事業継続マネジメント協同組合 代表理事 木村 俊彦 氏

講義／「現場を強くする事業継続計画策定のポイント」

受講料：〔市内〕 無料、〔市外〕 1,000 円

参加者：64 社 97 名（定員：70 名、申込：111 名）

〔市内〕 企業 42 社 69 名

〔市外〕 企業 22 社 28 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

イ ワークショップ

開催日：平成28年6月15日（水）、22日（水）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：静岡事業継続マネジメント協同組合 代表理事 木村 俊彦 氏

内 容：ワークショップ①「現場を強くする事業継続計画の作り方」

ワークショップ②「現場を強くする事業継続計画策定の運用について」

受講料：〔市内〕 2,000 円、〔市外〕 4,000 円

参加者：16 社 24 名（定員：25 名、申込：24 名）

〔市内〕 企業 9 社 16 名、〔市外〕 企業 7 社 8 名

(2) ものづくり現場の改善に向けた講座

ア トヨタ生産物流セミナー

開催日：平成28年7月6日（水）

会 場：グランドホテル浜松

講 師：㈱豊田自動織機（愛知県刈谷市） トヨタ L&F カンパニー

ソリューション営業推進グループ長 金子 岩義 氏

内 容：トヨタ生産物流方式とは？、現場を見るポイント（ムダ探し）、現場運営管理手法（安全・4S・QC サークル・在庫管理）、改善が進まない実態、職場風土づくり

受講料：〔市内〕 無料、〔市外〕 1,000 円

参加者：67 社 127 名（定員：200 名、申込：150 名）

[市内] 企業 50 社 77 名
[市外] 企業 17 社 50 名、行政・産業支援機関 2 機関 3 名
※講師による無料相談会を併せて開催し、3 社 4 名が参加した。

イ (株)豊田自動織機 高浜工場見学

開催日：平成 28 年 8 月 2 日（火）
会 場：(株)豊田自動織機 高浜工場
参加料：[市内] 2,000 円、[市外] 4,000 円
参加者：27 社 35 名（定員：35 名、申込：35 名）
[市内] 企業 17 社 21 名、[市外] 企業 10 社 14 名

ウ ものづくり現場の流れづくりカイゼン講座（全 2 回）

開催日：平成 28 年 9 月 6 日（火）、13 日（火）
会 場：浜松商工会議所会館
講 師：リネットジャパングループ(株)（愛知県大府市）監査役 野村 政弘 氏
内 容：納期の厳しい物流部門におけるカイゼンの事例紹介、中小・零細企業
向けの「流れづくりカイゼン」概論、カイゼン導入ステップ、流れづ
くりカイゼンの事例紹介、改善ディスカッション、グループワーク
参加料：[市内] 2,500 円、[市外] 5,000 円
参加者：12 社 14 名（定員：20 名、申込：14 名）
[市内] 企業 8 社 10 名、[市外] 企業 4 社 4 名
フォローアップ：個別アドバイザー派遣を希望した、(有)米食角十（浜松市中区）、
(株)ブローチ研削工業所（浜松市北区）、(株)ティーアールシー高田（浜
松市西区）、トモエ工芸(株)（掛川市）の 4 社に対して実施した。
※トモエ工芸(株)は自主財源にて対応

(3) からくり改善の啓発講座

ア からくり改善導入セミナー

開催日：平成 28 年 7 月 28 日（木）
会 場：(株)呉竹荘
講 師：日本プラントメンテナンス協会（東京都千代田区）
技術アドバイザー 新見 芳宣 氏
内 容：からくり改善とは、からくり改善の原理・目的・メリット
導入・展開
受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円
参加者：52 社 114 名（定員：50 名、申込：135 名）
[市内] 企業 32 社 64 名
[市外] 企業 20 社 50 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

イ からくり改善くふう展視察会

開催日：平成 28 年 9 月 29 日（木）、30 日（金）
会 場：パシフィコ横浜
受講料：10,000 円（税込）
参加者：20 社 75 名（申込：76 名）
[市内] 企業 11 社 50 名
[市外] 企業 9 社 25 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

(4) 自主保全の啓発講座

ア 自主保全導入講座（全2回）

開催日：平成28年7月22日（金）、8月5日（金）

会 場：㈱呉竹荘

講 師：日本プラントメンテナンス協会 技術アドバイザー 原田 英利 氏

内 容：PM、TPMとは何か、自主保全の基礎知識、考え方・進め方、
現場の変化、活動成功のポイント、自主保全士

受講料：〔市内〕無料、〔市外〕1,000円

参加者：40社77名（定員：50名、申込：81名）

〔市内〕企業 26社38名、〔市外〕企業 14社39名

(5) 日本プラントメンテナンス協会との共催事業

ア すぐに使えるFMEA講座

開催日：平成28年7月29日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：コニカミノルタ㈱（東京都千代田区）センシング事業部 生産部
マネージャー 増子 俊哉 氏

内 容：信頼性用語の定義や基本、FMEA、FTA

受講料：29,160円

参加者：22社30名

イ からくり改善実践講座

開催日：平成28年8月31日（水）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：日本プラントメンテナンス協会 技術アドバイザー 新見 芳宣 氏

内 容：からくり改善の講義及びグループワーク

受講料：37,800円

参加者：6社17名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成27年度	平成28年度	平成28年度
講座受講者数	—	492名	450名以上
講座受講者満足度	—	98%	90%以上

【年度総括】

平成27年度に「製造中核人材育成講座」のフォローアップとして実施していた「現場改善・生産性向上の講座」を独立させ、セミナー開催や専門家派遣による普及啓発と人材育成を行った。

「事業継続計画（BCP）策定・運用の講座」は、熊本地震の影響により、事業継続に関する企業の関心の高まりから定員を大幅に上回る申し込みがあった。また、本講座の担当講師を財団の専門家として登録していただき、今後も継続して個別支援できる体制を整えた。

また、「からくり改善導入セミナー」「自主保全導入講座」についても定員を大幅に上回る申し込みがあり、地域ニーズがあることを確認できた。ただし、中小企業の参加が少ないことが課題であり、より地域中小企業のレベル感に沿った提案が必要であると思われる。

平成 28 年 9 月には、「流れづくりカイゼン講座」として、流れづくり生産方式への導入啓発セミナーを実施し、その後のフォローアップとして、4 社への講師派遣を行った。(有)米食角十（浜松市中区）については、製品在庫の滞留期間を半分にすることを目標に、講師とともに社内改善を実施中である。トモエ工芸（掛川市）では、セミナーで学んだ内容を実践することで生産性が向上し、100 万円／月の売上増を達成した。

平成 29 年度は、より体系的かつ中小企業の現場に即した現場改善の支援ができるよう、事業内容の改善を進めていく。

8 自社製品開発事業

決算額 1,873,305 円（予算額 2,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松地域のものづくり中小企業は、高い技術力を持つものの下請け依存度が高く、その脱却のためには新しいビジネスへの展開や製品開発力の向上が求められている。新しいビジネスモデルを構築し、イノベーションを生み出すための源泉として「デザインマネジメント」がある。「デザインマネジメント」を身につけ、自社製品開発が実践できる人材の育成を図る。

【実施内容】

中小製造業の製品開発支援として、企画から試作品製作までを一気通貫で実践する「自社製品開発スクール」を開催し、終了後もアドバイザー派遣や勉強会の実施によるフォローアップを行った。また、優れたコンセプトやビジネスモデルを生み出す手法を学ぶ「デザインシンキング講座」を開催し、製品開発力の向上を支援した。

(1) 自社製品開発講座

ア 自社製品開発スクール（全 5 日）

＜第 1 回＞

開催日：平成 28 年 7 月 24 日（日）、31 日（日）、8 月 21 日（日）

9 月 3 日（土）、4 日（日）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

特別講師：㈱enmono（東京都渋谷区） 代表取締役 三木 康司 氏

内 容：何度でもチャレンジできる製品開発概論、中小企業製品開発事例、チームビルディング、ケーススタディ、商品コンセプト抽出、コンセプト・事業ストーリー・プロトタイプ作成、自社の強みの洗い出し、メディア戦略概論、中間発表、クラウドファンディング概論、クラウドファンディングコンテンツ作成、成果発表会

受講料：[市内] 25,000 円、[市外] 50,000 円

参加者：5 社 5 名（定員：5 名、申込：5 名） [市内] 企業 5 社 5 名

フォローアップ：受講者に対してアドバイザー派遣を 4 回実施

＜第 1 回成果報告会＞

開催日：平成 28 年 10 月 5 日（水）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：本スクールの振り返り、成果発表、総評、交流会

受講料：〔市内〕 無料、〔市外〕 1,000 円

参加者：16 社 25 名（定員：20 名、申込：26 名）

〔市内〕 企業 14 社 23 名

〔市外〕 企業 2 社 2 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

<第 2 回>

開催日：平成 28 年 10 月 13 日（木）、20 日（木）、26 日（水）

11 月 16 日（水）、24 日（木）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：何度でもチャレンジできる製品開発概論、中小企業製品開発事例、チームビルディング、ケーススタディ、商品コンセプト抽出、コンセプト・事業ストーリー・プロトタイプ作成、自社の強みの洗い出し、メディア戦略概論、中間発表、クラウドファンディング概論、クラウドファンディングコンテンツ作成、成果発表会

受講料：〔市内〕 25,000 円、〔市外〕 50,000 円

参加者：5 社 5 名（定員：5 名、申込：6 名） 〔市内〕 企業 5 社 5 名

※フォローアップとして、スクールでの成果発表会後にアドバイザー派遣によるフォローアップ講座を全 7 回実施。講師のアドバイスにより、試作品のブラッシュアップや製品化に向けた準備を促進する事ができた。

<第 2 回成果報告会>

開催日：平成 28 年 12 月 13 日（火）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：本スクールの振り返り、成果発表、総評、交流会

受講料：〔市内〕 無料、〔市外〕 1,000 円

参加者：20 社 27 名（定員：20 名、申込：30 名）

〔市内〕 企業 18 社 25 名 〔市外〕 企業 2 社 2 名

イ 勉強会

<第 1 回> 《アイデアを『商品』にブレイクスルーするデザインの力》

開催日：平成 29 年 2 月 3 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：西村拓紀デザイン㈱（東京都中央区） 代表取締役 西村 拓紀 氏

内 容：講義「アイデアを『商品』にブレイクスルーするデザインの力」
ケーススタディ「はままつ自社製品開発スクール卒業生の試作品へのコメント」

受講料：〔市内〕 2,000 円、〔市外〕 4,000 円

参加者：26 社 27 名（定員：25 名、申込：27 名）

〔市内〕 企業 24 社 25 名 〔市外〕 企業 2 社 2 名

<第2回> 《クラウドファンディング活用セミナー》

開催日：平成29年3月15日（水）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：㈱マクルウ（富士宮市） 常務取締役 安倍 信貴 氏

内 容：講義「クラウドファンディングの活用による自社製品開発」

受講料：〔市内〕2,000 円、〔市外〕4,000 円

参加者：19 社 19 名（定員：25 名、申込：25 名）

〔市内〕企業 16 社 16 名、行政・産業支援機関 1 社 1 名

〔市外〕企業 3 社 3 名

ウ 中小企業のための自社製品開発セミナー

開催日：平成29年3月2日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：講師／㈱エムテド（東京都目黒区） 代表取締役 田子 學 氏

演題／デザインマネジメントによる企業イノベーション

講師／㈱enmono（東京都渋谷区） 代表取締役 三木 康司 氏

演題／禅的アプローチを用いた中小企業の自社製品開発

講師／㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

演題／はままつ自社製品開発スクールの取り組み

ケーススタディ／はままつ自社製品開発スクール卒業生の試作品発表
と講師コメント

受講料：〔市内〕無料、〔市外〕1,000 円

参加者：58 社 74 名（定員：100 名、申込：93 名）

〔市内〕企業 49 社 65 名、行政・産業支援機関 4 社 7 名

〔市外〕企業 9 社 9 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

(2) デザインマネジメント実践ワークショップ

開催日：平成28年12月8日（木）、9日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

講 師：慶應義塾大学大学院（神奈川県横浜市）

システムデザイン・マネジメント研究科 特任講師 富田 欣和 氏

内 容：講義と小人数に分かれてのワークショップ（デザインマネジメント

概論、アイディエーション、価値と価値連鎖、問題定義、

顧客価値、プロトタイピング、プレゼンテーション）

受講料：〔市内〕3,000 円、〔市外〕6,000 円

参加者：9 社 13 名（定員：20 名、申込：14 名）

〔市内〕企業 9 社 13 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成27年度	平成28年度	平成28年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	4 件	10 件	5 件
ビジネスコンテスト応募件数	—	1 件	3 件
スクール参加企業の満足度	—	100%	90%以上
専門家派遣による企業支援	—	1 件	2 件

【年度総括】

平成 28 年度の新たな試みとして「はままつ自社製品開発スクール」を 2 回開催した。下請け型の中小企業がゼロから自社製品開発を行うには、様々なハードルが存在するが、講師と財団コーディネーターによるサポートにより、参加企業 10 社 10 名全員が新規ビジネスモデルや試作品の開発に成功し、発表を行うことができた。スクール終了後も、講師のフォローアップを計 7 回実施し、製品化を後押ししている。

今後は、財団コーディネーターを中心に、各社それぞれの状況に応じて製品化・補助金獲得・クラウドファンディング・販路開拓などの支援を個別に行い、製品化を推進していく。

「はままつ自社製品開発スクール卒業生（第 1 期・第 2 期）」10 社の状況

- ・製品化に向けた知財取得準備：1 社
- ・補助金獲得準備：4 社
- ・クラウドファンディングのコンテンツ準備：1 社
- ・専門家派遣制度活用による製品の改善：1 社
- ・コトづくり分野での事業化達成：1 社

9 浜松ものづくりマイスター推進事業

決算額 923,507 円（予算額 1,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松市より認定を受けた「浜松ものづくりマイスター」（以下、マイスター）の活動を通じて、技能・技術の維持継承と次世代のものづくり産業を担う人材の確保・育成を図る。

【実施内容】

産業人材の技能伝承を狙ったインターンシップと、次世代産業人材向けにイベントへのブース出展、および広報活動を行った。

(1) マイスターによるインターンシップ

ア ㈱浅沼技研 インターンシップ

開催日：平成 28 年 4 月 15 日（金）

会 場：㈱浅沼技研（浜松市西区）

講 師：㈱浅沼技研 代表取締役社長 浅沼 進 氏

内 容：講義「世界に通用するものづくり～測定精度管理を中心に～」
現場見学

受講料：〔市内〕2,000 円、〔市外〕4,000 円

参加者：2 社 3 名（定員：5 名、申込：4 名）

〔市外〕企業 2 社 3 名

イ 沢根スプリング㈱ インターンシップ

開催日：平成 28 年 6 月 23 日（木）

会 場：沢根スプリング㈱（浜松市南区）

講 師：沢根スプリング㈱ 代表取締役 沢根 孝佳 氏

内 容：講義「沢根スプリング㈱の高付加価値のものづくり・人づくり」
現場研修

受講料：[市内] 2,000 円、[市外] 4,000 円

参加者：14 社 14 名（定員：10 名、申込：17 名）

[市内] 企業 11 社 11 名、[市外] 企業 3 社 3 名

ウ (有)雪山シボリ インターンシップ

開催日：平成 28 年 12 月 6 日（火）

会 場：(有)雪山シボリ

講 師：(有)雪山シボリ（浜松市東区） 会長 雪山 有司 氏

内 容：講義「へら絞り加工について」

実習「へら絞り加工実習」

受講料：[市内] 2,000 円、[市外] 4,000 円

参加者：5 社 5 名（定員：3 名、申込：5 名）

[市内] 企業 4 社 4 名、[市外] 企業 1 社 1 名

(2) 浜名湖花フェスタ マイスターブース出展

開催日：平成 28 年 5 月 14 日（土）

会 場：はままつフラワーパーク

出展企業：(株)ピアックス（浜松市中区）、(有)三創楽器（浜松市東区）

(有)豊岡クラフト（浜松市北区）

来場者：2,094 名

(3) 浜松わくわく探検隊への参画

開催日：平成 28 年 8 月 10 日（水）

会 場：ホテルコンコルド浜松

講 師：(株)ポリシス（浜松市浜北区）代表取締役 毛利 俊甫 氏

内 容：ポリウレタンの不思議体験

(4) 科学館夏休み マイスターブース出展

開催日：平成 28 年 8 月 27 日（土）

会 場：浜松科学館

講 師：(有)豊岡クラフト（浜松市北区） 取締役会長 山崎 肇 氏

(株)ポリシス（浜松市浜北区） 代表取締役 毛利 俊甫 氏

(株)三創楽器製作所（浜松市東区） 代表取締役 岩上 勝 氏

(株)ピアックス（浜松市中区） 代表取締役会長 小原 敏夫 氏

(株)タケモト（浜松市中区） 専務取締役 竹本 京司 氏

内 容：＜体験教室＞

ロータリースタンド（ペン立て）を作ってみよう！、ポリウレタンの不思議を体験しよう！、簡易ライアー（楽器）を作ってみよう！、コースターを作ってみよう！、かつおぶしを削って味わってみよう！

＜展示教室＞

(株)ピアックス、(株)ポリシス

体験教室参加人数：55 名

来場者：1,129 名

(5) 平成 28 年度認定マイスターのパンフレット作成

内 容：(株)明和工業（浜松市東区） 渥美好康氏／橋本螺子(株)（浜松市東区）

橋本秀比呂氏の紹介用パンフレット

部 数：各 1,000 部

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
①インターンシップ参加者数	12 名	22 名	15 名以上
②インターンシップ参加者満足度	100%	100%	90%以上

【年度総括】

平成 27 年度認定マイスターの沢根スプリング(株)（浜松市南区）沢根孝佳氏と(有)雪山シボリ（浜松市東区）雪山有司氏によるインターンシップを開催した。いずれの講座も参加者の満足度が高く、産業人材への技能伝承に繋がった。

また、平成 28 年 8 月には、浜松科学館にて次世代人材向け「体験教室」及び「展示教室」を開催した。夏休み期間中のため 1,129 名の来場があり、次世代人材に対する浜松のものづくり技術の啓発と興味喚起につながったと思われる。

平成 29 年度は、本来の事業目的である「技術・技能伝承」をより推進していくために事業内容を再考し、効果的な事業実施に向け準備を進めていく。

4【興す】創業・第二創業支援

10 創業・新事業展開事業

決算額 — 千円（予算額 — 千円）＜自主財源＞

【目的】

浜松地域の中心産業であるものづくり産業のみならず、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携をして、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

【実施内容】

浜松市における創業・新事業展開支援の拠点として、ワンストップ窓口“はままつ起業家カフェ”（創業・新事業展開支援総合窓口）を商工会議所会館 1 階に設置。起業・販路開拓・資金調達などの知識に長けている専任コーディネーターを中心に、起業・新事業展開を図ろうとする個人・ベンチャー企業などに対して各種相談に応じた。

また、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）の創業支援に関する取り組みを連動させ、地域一丸となり、起業家及びベンチャー企業のためのセミナーや講座などを開催し、起業家の発掘からベンチャー企業の成長支援まで幅広くサポートを実施した。

(1) 相談事業

相談者人数：378 名 ※実数

相談者件数：1,023 件 ※延べ数

新規創業者数：73 名（男性 46 名、女性 27 名）

※製造業 8 名、建設業 5 名、サービス業 20 名、飲食業 12 名、医療・福祉業 2 名、情報通信業 7 名、小売業 9 名、教育・学習支援 8 名、農林漁業 1 名、不動産・物品賃貸業 1 名

特定創業支援事業：50 名 ※平成 27 年度実績：19 名

(2) 創業・新事業展開セミナー

開催日：平成 28 年 7 月 9 日（土）

会 場：グランドホテル浜松

講 師：エキスパート・リンク(株)（東京都品川区）

コンサルティング事業部経営創業支援担当リーダー 仙波 希 氏
椎名トモミ写真事務所（東京都渋谷区）

代表・カメラマン 椎名 トモミ 氏

内 容：輝く女性のための起業応援セミナー（基調講演＋女性起業家の体験談）

参加料：無料

参加者：43 名

(3) 起業サロン

開催日：平成 28 年 6 月 21 日（火）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：(株)CAI メディア（浜松市中区） 代表取締役社長 福地 三則 氏
司法書士法人中央合同事務所（浜松市中区） 代表 古橋 清二 氏

内 容：IT ベンチャーの先輩起業家に聴く

ことわざで学ぶ創業者のための法律講座

参加料：無料

参加者：11名

開催日：平成28年8月30日（火）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：㈱BooBoonet（浜松市中区） 代表 野末 美樹 氏

伊藤弘人社会保険労務士事務所（浜松市中区） 代表 伊藤 弘人 氏

内容：自動車買取販売業の先輩起業家に聴く

労務管理の基礎知識

参加料：無料

参加者：9名

開催日：平成28年10月25日（火）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：峯野牧場（浜松市北区） 代表 峯野 忍 氏

日本政策金融公庫（浜松市中区） 石垣 恵市 氏

内容：峯野の牧場の経営者に聴く

資金調達について

参加料：無料

参加者：13名

開催日：平成28年12月13日（火）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：桜花不動産（浜松市西区） 代表 吉田 雅信 氏

浜松信用金庫（浜松市中区） 神村 明洋 氏

内容：不動産業界の先輩起業家に聴く

クラウドファンディング・FAAVO 静岡について

参加料：無料

参加者：14名

(4) 起業実践サロン（全6回×2クール）

開催日：平成28年5月19日（木）～平成28年6月30日（木）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：㈱オオサワ・ビジネス・コンサルティング（浜松市中区）

代表取締役 大澤 政久 氏

光産業創成大学院大学（浜松市西区） 教授 増田 靖 氏

ゆたか税理士事務所（浜松市浜北区） 税理士 古田 豊 氏

内容：ビジネスプラン作成講座

参加料：無料

参加者：10名

開催日：平成29年1月19日（木）～平成29年3月2日（木）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：㈱オオサワ・ビジネス・コンサルティング（浜松市中区）

代表取締役社長 大澤 政久 氏

光産業創成大学院大学（浜松市西区） 教授 増田 靖 氏

ゆたか税理士事務所（浜松市浜北区） 税理士 古田 豊 氏

内容：ビジネスプラン作成講座

参加料：無料
参加者：11名

(5) その他

- ・起業実践サロン特別講座（7月・11月・12月）
- ・起業に役立つミニ講座（5月・7月・8月・9月・10月・11月・2月）
- ・起業家交流会 ベンチャーミーティング（9月・12月）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
新規創業件数	47 件	73 件	35 件
相談件数	588 件	1,023 件	400 件
セミナー参加人数 ※1	131 名	43 名	80 名
サロン参加人数 ※2	124 名	68 名	100 名

※1：27 年度 2 回、28 年度 1 回開催

※2：27 年度 8 回、28 年度 6 回開催

【年度総括】

平成 28 年度については、引き続き平成 27 年 7 月に創業支援総合窓口として開設した「はままつ起業家カフェ」と連携しながら浜松地域の創業希望者やベンチャー企業などに対しての各種サポートを実施してきた。今年度の実績としては、相談件数が 1,023 件（前年対比で 173%）と大きく伸びており、それに伴い新規創業件数も 73 件（前年対比 155%）と大幅増につながっている。

平成 29 年度も引き続き、はままつ起業家カフェと連携し、“はままつスタートアップ”の創業支援総合窓口として、各支援機関と連携した相談対応はもちろんのこと、情報収集や創業希望者同士の交流スペースとして利用しやすい環境づくりも併せて実施していく。

1.1 半田山TBG活用運営事業

決算額 1,074 円（予算額 2,180 千円）＜自主財源＞

【目的】

新事業創出や産学官連携を目指す企業のインキュベート施設として、半田山TBG（テクノビジネスゲイト）を地域のベンチャー企業などに提供し、新規事業展開等の創出を支援する。

【実施内容】

- 平成 27 年 10 月：関係機関と協議の上、解体時期の決定
- 平成 28 年 3 月：学校法人から利活用の申出があり、関係機関と連絡調整
- 平成 28 年 6 月：静岡県が無償譲渡可能との判断
- 平成 28 年 8 月：理事会・評議員会で学校法人への無償譲渡について書面決議し、静岡県へ財産処分の申請
- 平成 28 年 10 月：学校法人イーエーエス伯人学校と常葉大学と譲渡内容について協議
- 平成 28 年 10 月：静岡県から財産処分の承認



平成 28 年 12 月：学校法人イーエーエス伯人学校と譲渡契約締結（譲渡完了）
※静岡県から財産処分の承認後、学校法人イーエーエス伯人学校と譲渡契約
※平成 27 年 4 月に半田山事務所を浜松市へ無償譲渡

【年度総括】

平成 28 年度の当初計画では、5 月の連休明けから解体し、9 月末までに土地を浜松市へ返却できるよう、常葉大学と調整していた。しかし、平成 28 年 3 月中旬に学校法人イーエーエス伯人学校から建物を外国人学校として利用したいとの申出を受けたため、常葉大学と直ちに協議を行い、解体を一旦取り止めることとし、関係機関と無償譲渡にむけた連絡調整を行った。そして、無償譲渡については、土地の所有者である浜松市、建物の所有者である常葉大学と財団、譲渡先である学校法人イーエーエス伯人学校とで合意し、公益財団を所管する静岡県から無償譲渡可能との判断が出たため、直ちに、理事会・評議員会を书面開催し、TBG 棟を学校法人イーエーエスへ無償譲渡することについて決議された。

静岡県へ平成 28 年 8 月 18 日付けで財産処分の申請を行い、10 月 26 日に承認された。それと並行しながら、学校法人イーエーエス伯人学校、常葉大学、財団の 3 者で譲渡内容を協議し、12 月 1 日付けで学校法人イーエーエス伯人学校と譲渡契約を締結。TBG 棟に保管していた書類の移転や土地の賃貸契約等の終了手続きについても 12 月末までにすべて完了した。

1 2 債務保証事業

決算額 1,990,230 円（予算額 9,390 千円）＜自主財源＞

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【実施内容】

新技術・新製品の開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して、債務保証（保証期間 8 年以内、保証限度額 最大 3 千万円、無担保）を行った。

(1) 債務保証制度内容

保証限度額	一企業 30,000 千円以内
利 率	年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）
保証期間	8 年以内
保証料率	0.9%保証限度額

(2) 新規債務保証

平成 28 年度 新規債務保証 0 件

(3) 債務保証残高

平成 28 年度 債務保証残高 0 円

(4) 求償権の回収

対象企業 3 社のうち 2 社返済中（年間回収額 300 千円）

【成果指標】

(単位:千円)

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
求償権の回収額	2,550 千円	300 千円	300 千円

【年度総括】

求償権回収中の 3 社のうち毎月返済が継続中である 2 社は、返済が滞らないよう、入金状況を随時確認している状況である。

なお、残りの 1 社については、既に会社が存続しておらず、連帯保証人も海外に居住しているため、本人に直接返済を催促できず、現在返済が滞っている状況である。

平成 29 年度も引き続き、返済の督促及び「債務確認書」の提出依頼を行っている。

5【活かす】知財総合支援

1 3 知的財産に関する相談、講演会、講習会

決算額 353,113 円（予算額 1,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

特許・商標等の調査、出願などの知財に関する各種相談への対応を通じて、中小企業や個人が抱える知財に関する様々な課題、悩みを解決すべく支援すると共に、企業経営における知的財産活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進する。また、知財に関する法制度の理解、知財実務の知識習得・スキルアップ及び企業活動における知財活用の啓発を図る。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、企業の経営、事業に貢献すべく、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化の両面から適切な知財支援を行った。支援においては、知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（（一社）静岡県発明協会）とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度（弁理士やデザイン、ブランドの専門家を派遣）を活用するとともに、技術、経営コーディネーターとも連携して対応した。

また、これまで知財相談のなかった企業についても、潜在的に知財問題を抱えているケースが多々あることから、地域の金融機関や商工会議所、商工会などとも連携して地域企業における知財課題の掘り起こしを行ないつつ支援した（新規の知財相談企業数が増加した）。

(2) 知財講演会・講習会の開催

ア 知財関連法、知財関連判例、企業の知財戦略・知財活用などに関する講演会を開催した。

・ 関東経済産業局、特許庁との共催事業 ※実施機関：（一社）発明推進協会
講演会①

開催日：平成 28 年 9 月 28 日（水）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：弁護士 長嶋・大野・常松法律事務所パートナー 三村 量一 氏

内 容：知的財産権の選択と知財訴訟実務の勘どころ

受講料：無料

参加者：66 名（定員：40 名）

講演会②

開催日：平成 28 年 11 月 15 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：一燈国際特許事務所所長 弁理士 橘 和之 氏

内 容：特許明細書作成講座（演習付き）

受講料：無料

参加者：46 名（定員：40 名）

講演会③

開催日：平成 29 年 2 月 28 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：元（一社）発明推進協会 部長 佐々木 勝彦 氏

内 容：知識・理解不足に起因する法律・契約、知的財産におけるさまざまな失敗事例

受講料：無料

参加者：61名（定員40名）

・文化庁との協力事業

著作権セミナー

開催日：平成28年11月25日（金）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

内 容：講師／文化庁 著作権課著作権調査官 小林 左和 氏

演題／著作権制度の概要

講師／TMI 総合法律事務所 弁護士 長島 匡克 氏

演題／あるある！著作権に関わる実務上の諸問題

受講料：無料

参加者：46名（定員：70名）

イ 中小企業者等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会（全6回コース）を開催した。また、企業や商工会等に出向いての出前知財講習会を実施した。

・初心者向け知財基礎講習会 ※はままつ知財研究会との共催

開催日：平成28年7月29日（金）～平成29年1月27日（金）（全6回）

会 場：浜松労政会館、ポリテクカレッジ浜松

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

内 容：下記のとおり

受講料：はままつ知財研究会会員…無料

非会員…〔市内〕1,500円、〔市外〕3,000円

参加者：14社19名（定員：20名、申込：21名）

〔市内〕企業 9社12名、行政・産業支援機関 1機関2名

〔市外〕企業 5社7名

（講座内容）

開催日	内 容	会 場
7月29日（金）	①知的財産権制度の概要 ②特許制度と特許法の概要（前編）	浜松労政会館
8月26日（金）	②特許制度と特許法の概要（後編） ③特許制権の事例紹介	浜松労政会館
9月23日（金）	④特許権の権利範囲と権利解釈 ⑤特許権の利用関係	浜松労政会館
10月28日（金）	⑥意匠制度、商標制度の概要 ⑦特許情報調査と特許情報の活用	ポリテクカレッジ浜松
11月29日（火）	⑧企業活動（研究開発活動）と知的財産権について	浜松労政会館
1月27日（金）	⑨不正競争防止法 ⑩知的財産関連契約 ⑪まとめ	浜松労政会館

ウ 出前知財講習会

①開催日：6月21日（火）

会 場：(株)クラブ（浜松市南区）

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：16名

②開催日：6月23日（木）

会 場：湖西市商工会「湖西ものづくり BtoX 研究会」

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：10名

③開催日：8月23日（火）

会 場：(株)榛葉鉄工所（掛川市）

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

知財総合支援窓口担当 近藤 達憲 氏

参加者：18名

【成果指標】

項目		実績		目標
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
①相談対応件数		711 件	745 件	650 件
②企業訪問件数		100 件	113 件	80 件
③専門家派遣件数		70 件	69 件	45 件
④出願支援件数	特許	28 件	11 件	—
	実用新案	2 件	1 件	
	意匠	3 件	4 件	
	商標	42 件	30 件	
⑤講演会・講習会開催回数		12 回	13 回	10 回以上
⑥参加者満足度		94%	95%※1	90%以上

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む
目標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

【年度総括】

平成 28 年度の相談対応件数 745 件は、年間目標件数 650 件に対して 15%、前年度実績 711 件に対して 5%程上回った。このうち、新規相談者からの相談件数が 151 件（全体の 20%）と、新規相談件数が増加した。これは、商工会議所、商工会、金融機関からの支援要請や紹介が増えていることが一因となっており、知財意識、関心が広がってきているものと思われる。一方で、リピーターの相談者も多く、地域における知財相談・支援機関としての存在価値が高まっているものと思われる。

相談の内容としては、特許、商標等の出願相談の他に、「直虎」商標問題をはじめとする他社知的財産権問題に関する相談や秘密保持契約、共同研究契約、ノウハウ使用許諾契約等の契約問題に関する相談などの経営・事業に直結するような難解な案件が増えており、弁理士等の専門家派遣を活用しながら慎重かつ適切な対応に努めた。さらに、専任の知財担当者がある中堅企業からの相談もあり、彼らの悩み解決に向けての良き相談相手となって有益なアドバイスを行うように努めた。なお、相談対応案件について、事前の検討準備や相談対応後のフォローアップ支援も行いたいところであるが、時間的余裕がないことから十分な取組みができていない点が課題である。

知財講演会については、浜松市と連携して特許庁事業の「平成 28 年度戦略的知財

マネジメント促進事業・知的財産セミナー」を浜松市で開催することを要請し、浜松市内で3回開催することができた（特許庁、関東経済産業局、浜松市、浜松地域イノベーション推進機構の共催、費用は特許庁負担）。この知的財産セミナーのテーマ、講師などについても、浜松市と協議して提案し、ほぼ提案どおりの内容で開催できた。

また、初心者向け知財基礎講習会の開催を通じて知財に関わる人材育成が図られたものと思われる。さらに、企業からの要望を受けて、出前知財講習会を㈱クラブ、湖西市商工会「湖西ものづくり BtoX 研究会」、㈱榛葉鉄工所においてそれぞれ実施し、企業の知財意識・知識の向上を図った。この出前知財講習会は、個々の企業等の事情に合わせた目的、内容で対応しており、企業にとって有益な講習会であると考えている。今後も要望があれば積極的に対応していく。

14 「はままつ知財研究会」との連携（同研究会の事務局事業）

決算額 — 千円（予算額 — 千円）＜同会からの受託事業＞

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動などの各種事業を事務局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知的財産関係の人材育成に取り組む。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートし、また当財団の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動の向上を図った。さらには、知財に携わる人材の育成、レベルアップを図った。

具体的な活動として、同研究会が開催する講演会や知財問題研究部会などの開催をサポートするとともに、当財団と同研究会の共催にて知財講習会を開催した。

(1) 総会

開催日：平成28年6月13日（月）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

＜公開講演会＞

講 師：（有）ネオデザイン（東京都港区）代表取締役 井上 和世 氏

内 容：「デザイン界の町医者」が教える売れる商品開発の秘訣とは？」

受講料：無料

参加者：31社35名（定員：50名、申込：32名）

(2) 知財問題研究部会（IP 部会）

開催回	開催日	内 容（講師）
第58回	5月13日（金）	異議申立制度～新制度開始から1年を経過して～ 講師：フロイント産業㈱浜松事業所（浜松市） 法務特許室 長尾 洋 氏
第59回	7月1日（金）	改正職務発明（特許法35条法改正）について～ 職務発明制度の社内運用に関する注意点を考える～ 講師：さくら国際特許法律事務所（愛知県名古屋市） 弁護士・弁理士 三木 浩太郎 氏

第 60 回	9 月 2 日 (金)	「中小企業のための医工連携と知財戦略 ～医療機器分野に参入するための基礎知識～」 講師：日本医療研究開発機構(AMED) (東京都千代田区) 知的財産部 知的財産コンサルタント 弁理士 神谷 直慈 氏
第 61 回	11 月 7 日 (月)	浜松医科大学施設見学&「医工連携と知財について」の意見交換
第 62 回	1 月 13 日 (金)	「ASEAN における知財実務の現状教えます」 講師：フェシリテ特許業務法人 (東京都港区) 代表 弁理士 伊藤 市太郎 氏
第 63 回	3 月 3 日 (金)	「営業秘密管理」 講師：(独法) 工業所有権情報・研修館 知的財産戦略アドバイザー 境野 良一 氏

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

定 員：各回 30 名

(3) 講演会

講演会①

開催日：平成 28 年 11 月 14 日 (月)

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：ジェトロ・バンコク事務所 知的財産部長 高田 元樹 氏
ジェトロ・バンコク事務所 知的財産専門家 澤井 容子 氏

内 容：ASEAN 地域の知財状況～ASEAN 地域の知財状況、知財リスクを知って何をすべきかを考えよう！

受講料：無料

参加者：26 社 38 名 (定員：40 名、申込：44 名)

講演会②

開催日：平成 29 年 2 月 10 日 (金)

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：(株)アイデア (愛知県名古屋市) 代表取締役 前古 護 氏 他

内 容：第 1 部／創造発揮ツール “TRIZ” とは

第 2 部／企業の事例紹介 6 社 (伸和コントロールズ(株) (神奈川県川崎市)、(株)創友 (東京都台東区)、(株)アイデア (愛知県名古屋市)、林エンジニアリング (愛知県名古屋市)、(株)デンソー (東京都港区)、ソニー(株) (東京都港区))

受講料：無料

参加者：42 社 52 名 (定員：40 名、申込：62 名)

【年度総括】

同研究会の幹事会で協議され、総会で承認された平成 28 年度の事業計画に則って知財講演会、知財問題研究部会 (IP 部会) などを開催した。講演会、IP 部会は、会員企業の知財責任者、知財担当者、弁理士が幹事・委員として自ら企画・運営していることにより、会員にとって有益な活動ができていると思われる。

15 特許等出願支援補助金事業

決算額 2,921,968 円（予算額 4,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

中小企業の特許などの知的財産権制度の利用を促進し、知的財産権を活用した事業展開を支援する。

【実施内容】

浜松市内の中小企業者、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願および海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対する出願費用の補助を行った。なお、平成 28 年度からは、国内出願補助金と海外出願補助金を一本化し、補助金申請状況に合わせて柔軟に対応した。

(1) 特許等出願支援補助金

公募期間：[1 次] 平成 28 年 5 月 9 日（月）～6 月 10 日（金）

[2 次] 平成 28 年 9 月 15 日（木）～10 月 28 日（金）

ア 国内出願補助金（予算 1,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補助金額：上限 150 千円

対象経費：出願手数料、弁理士経費

イ 海外出願補助金（予算 2,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用
先行技術調査費用など

申請件数：1 次募集 [国内] 7 件、[海外] 3 件

2 次募集 [国内] 6 件、[海外] 3 件

採択件数：1 次募集 [国内] 7 件、[海外] 3 件

2 次募集 [国内] 6 件、[海外] 3 件

交付決定額：[国内] 1,776,900 円 （13 件）

[海外] 2,108,572 円 （6 件）

交付確定額：[国内] 1,622,900 円 （12 件）

[海外] 1,291,420 円 （5 件）

【国内出願補助金】

（単位：円）

	No	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1 次募集	1	ショーダテクノロジ（株）（浜松市西区）	特許	医療用機器製造事業	86,300
	2	サクラ工業（株）（浜松市東区）	特許	熱変色耐性を具えたコンロ用五徳	128,600
	3	イノベティブ・デザイン&テクノロジー（株）（浜松市浜北区）	特許	小型電解装置の構造	150,000

	4	(株)増田酸素工業所(浜松市西区)	特許	金属間化合物層の形成方法	150,000
	5	QUICCO SOUNDO(株) (浜松市北区)	特許	照明装置制御システム及び照明装置制御方法	150,000
	6	ロボセンサー技研(株) (浜松市北区)	特許	触覚センサー	150,000
	7	杉田工業(株) (浜松市北区)	意匠	排気センサー取付け具の新工法形状	58,000
2 次 募 集	1	(有)太悦鉄工 (浜松市東区)	特許	ペグおよび地中構造物	150,000
	2	(株)エム・ティー・ケー (浜松市東区)	特許	演奏上演装置	150,000
	3	(株)SPLYZA (浜松市中区)	特許	端末装置、情報処理方法、情報処理システム及びプログラム	150,000
	4	(株)KAKEN (浜松市東区)	特許	ソーラー外灯及びソーラー外灯の制御方法	150,000
	5	(株)シーエス技研 (浜松市北区)	特許	架設足場の一括吊り上げ工法	150,000
	6	ノブオ電子(株) (浜松市西区)	特許	環境光補正機能付き電子色票	出願中止
計					1,622,900

【海外出願補助金】

(単位：円)

	No	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1 次 募 集	1	関羽工業(株) (浜松市北区)	特許	クランプ装置の駆動装置	361,680
	2	QUICCO SOUNDO (株) (浜松市北区)	特許	音響音楽機器用ドングル装置	出願中止
	3	(株)ブルーニングハーツ (浜松市浜北区)	商標	Sea Falcon	203,066
2 次 募 集	1	ショーダテクトロン (株) (浜松市西区)	特許	端面塗布装置	237,000
	2	REALS (浜松市中区)	商標	SABERIST	115,587
	3	池島フーズ(株) (浜松市浜北区)	商標	富士の国 (縦書き)	374,087
計					1,291,420

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
国内出願補助金業採択件数	13 件	13 件	10 件
海外出願補助金採択件数	6 件	6 件	5 件

【年度総括】

平成 28 年度の特許等出願支援補助金は、国内と海外の補助事業枠を柔軟に執行できるように一本化し、制度設計の見直しを行った。また、海外出願補助金については、補助対象期間の開始日を 4 月 1 日から補助金交付決定日へと変更した。

一次募集で国内・海外とも予算枠に達しなかったため、9 月に二次募集を行い、国内 6 件、海外 3 件を採択し、予算枠に達したため、公募を終了した。なお、採択後の出願段階において、出願中止（公知技術の発見や発明製品の海外展開の見直しによる）や出願国の変更などがあり、補助金確定額は予算を下回った。

また、採択企業に対しては、適正な事業執行がされるよう、進捗管理及びフォローアップを行うとともに、過去の採択企業に対するフォローアップも随時実施している。

1 6 特許流通支援事業

決算額 200,000 円（予算額 200 千円）＜静岡県補助＞

決算額 19,047 円（予算額 0 千円）＜自主財源＞

【目的】

中小企業者などの経営資源としての保有特許の活用（ライセンス、アライアンス形成等）及び研究開発における外部資源の活用（特許技術導入等）のための特許流通に関する支援を行う。

【実施内容】

中小企業などの保有特許の活用および新製品開発における外部特許の活用に関する特許流通についての知財相談に対して、静岡県特許流通アドバイザーなどと連携して対応した。

また、特許流通のために有効な特許などの検索調査に関する講習会を開催した。

(1) 講演会

開催日：平成 28 年 11 月 18 日（金）

会 場：浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

講 師：IP リサーチ 亀山 征二 氏

（元（一財）工業所有権協力センター主席・特任部員）

内 容：特許調査のための基礎知識・実務ノウハウ

特許庁検索ツール J-PlatPat」による検索体験実習

受講料：無料

参加者：10 社 12 名（定員：20 名、申込：16 名）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
特許流通支援件数	6 件	6 件	10 件

【年度総括】

特許ライセンスなどに関する相談に対しては、基本的には契約問題や売込み手法などについてアドバイスするなどの対応を行った。ライセンス先が全く未定の相談案件については、静岡県の特許流通アドバイザーと連携して対応した。

また、大企業などの休眠特許の活用については、既に「知財マッチング事業」を行っている（公財）静岡県産業振興財団などと連携して対応した。

特許流通を含めた特許の活用を図るためには、自社・他社の特許状況を知ることが必要であることから、特許情報の検索調査に関する実習を交えた講習会を開催した。講習会参加者からは、特許情報の検索調査に対して実践的で有益な内容であったとの意見を貰っているため、平成 29 年度もこのような講習会の開催を検討していく。

17 【新規】産学官知財連携推進事業

決算額 500,000 円（予算額 500 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松市内の中小企業の知財活動における産学連携を促進し、地域大学との共同研究、公的研究機関の技術指導などの連携を強化するなど、知財による産学官連携活動の更なる進展を図り、浜松地域の知財活用を促進する。

【実施内容】

静岡技術移転合同会社（静岡 TTO）とフォーラムなどを開催し、知財について産学連携に関する情報を発信するとともに、課題についての情報交換等を行うことにより、新技術・新産業の創出を加速させるためのマッチング会を行った。

(1) 産学官マッチング会

開催日：平成 28 年 12 月 20 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

テーマ：ロボット産業の基礎となる技術

内 容：講師／国立研究開発法人 科学技術振興機構

イノベーション拠点推進部 二階堂 知己 氏

演題／企業の研究開発・課題解決に「研究機関の力」を！

講師／静岡大学 工学部 教授 野口 敏彦 氏

演題／モータドライブと電力変換器の高出力密度化に関する取り組み

講師／静岡大学 工学部 准教授 伊藤 友孝 氏

演題／人間支援ロボティクス～ロボット工学の福祉分野への応用～

講師／静岡理工科大学 理工学部 講師 鹿内 佳人 氏

演題／農作業支援ロボットの開発について

受講料：[市内・市外]無料

参加者：27 社 41 名（定員：60 名、申込：60 名）

[市内] 企業 17 社 31 名、行政・産業支援機関 11 機関 31 名

[市外] 企業 10 社 10 名、行政・産業支援機関 4 機関 5 名

【年度総括】

平成 28 年度の新規事業のため、年度当初から静岡 TTO・浜松市・財団による 3 者協議で事業計画を立て、包括協定に基づく連携の中で、効果的な知財活用支援が実施できるよう詳細内容の検討・調整等を行った。これにより、平成 28 年 12 月 20 日に市内企業向け「産学官マッチング会」を開催し、参加企業に対して大学シーズの発信・マッチングの場を提供した。

平成 29 年度も引き続き、知財活用支援を産学官と連携して取り組んでいく。

6【創る】新事業開発支援

18 【新規】オープンイノベーション浜松創出支援事業

決算額 1,002,741 円（予算額 4,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

新たな研究素材の発掘や研究会発足に向けた情報収集やマッチングの場を新設する。また、中小企業などの共同研究による製品開発や事業化を促進するための共同研究に対する補助金制度を創設する。

【実施内容】

(1) オープンイノベーションフォーラム

中小企業の新製品・新技術開発を支援するために「情報提供」と「マッチング」の場の提供を行った。設立記念講演会開催を契機に会員企業を募集し、「開発テーマ・技術ニーズ情報の提供」、「財団コーディネーターによるサポート」、「共同研究支援補助金」などで、総合的に中小企業などの共同研究による製品開発や事業化に対する支援を行った。

ア オープンイノベーションフォーラム設立記念講演会

開催日：平成 28 年 7 月 14 日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

講 師：リンカーズ(株)（東京都千代田区）代表取締役 CEO 前田 佳宏 氏

内 容：探索技術のご紹介とリンカーズの取組み紹介

講 師：中央大学大学院 戦略経営研究科 フェロー 小林 三郎 氏

内 容：ホンダイノベーションの神髄を語る

～イノベーションマインドを再び浜松に～

受講料：[市内]無料、[市外]1,000 円

参加者：85 社 124 名（定員：200 名、申込：164 名）

[市内] 企業 69 社 96 名、行政・産業支援機関 6 機関 11 名

[市外] 企業 16 社 28 名 行政・産業支援機関 3 機関 4 名

イ はままつ技術シーズ・ニーズ発表会

開催日：平成 28 年 12 月 21 日（水）

会 場：グランドホテル浜松

発表者：アンヴァール(株)（浜松市中区）、(株)アスタワン（浜松市中区）

(有)刑部製作（浜松市西区）、(株) 伍葉精機（湖西市）

内 容：地域企業の技術シーズ・ニーズ発表

受講料：無料

参加者：24 社 27 名（定員：50 名、申込：35 名）

[市内] 企業 13 社 14 名、行政・産業支援機関 4 機関 5 名

[市外] 企業 11 社 13 名

ウ アイデアソンを活用した企業間連携セミナー

開催日：平成 29 年 3 月 7 日（火）

会 場：Any スペース 2

講 師：エイチタス(株)（東京都千代田区）

代表取締役 原 亮 氏

内 容：アイデアソンを用いたオープンイノベーションへの取り組み方
アイデアソンによる新規事業展開や企業課題の解決事例

受講料：無料

参加者：11 社 13 名（定員：20 名、申込：16 名）

〔市内〕 企業 10 社 12 名、行政・産業支援機関 2 社 2 名

〔市外〕 企業 1 社 1 名

エ マッチング創出

<活動内容>

①「Linkers」技術探索案件の情報提供（週 1 回）

②企業間マッチング

・地域企業のニーズ、シーズ情報の収集

・地域外企業のニーズ収集

・Linkers エントリー提案：24 件

・Linkers エントリー：16 件（当財団提案 9 件、企業自主提案 7 件）

・はままつ技術シーズ・ニーズ発表会でのマッチング件数：2 件

(2) 共同研究補助金

浜松市内の中小企業者が 3 社以上のグループで行う、新技術や新製品の開発を目的とした事業化研究に対して補助金を交付した。

公募期間：〔1 次〕平成 28 年 6 月 23 日（木）～7 月 29 日（水）

〔2 次〕平成 28 年 10 月 27 日（木）～11 月 30 日（水）

対 象：浜松市内の中小企業者が 3 者以上のグループ

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 750 千円（1 者あたり 250 千円上限）

対象経費：材料費・消耗品費、外注費、賃借料、
講演会・勉強会等への謝金・旅費など

申請件数：〔1 次〕1 件〔2 次〕0 件

採択件数：〔1 次〕1 件〔2 次〕0 件

事業期間：交付決定後～平成 29 年 2 月 28 日（火）

交付決定額：750,000 円

交付確定額：166,090 円

<交付企業一覧>

（単位：円）

1	企業名	㈱キャムテック（浜松市北区） 有見野金型製作所（浜松市中区） サンヨーエンジニアリング㈱（浜松市西区）	確定額	166,090
	〔内容〕超ハイテン材の「車載用トラックの道板」製品化に向けた共同研究事業			
	〔成果と今後〕大手プレス企業の工場見学・講習会によって、冷間での成形動向の把握とプレスマシンの疲労対策方法など、貴重な情報及びノウハウを得た。また、中小企業の共同体による研究ということで、大手自動車メーカーの賛同が得られ、材料入手が比較的容易となり、円滑に各種試験を実施し、超ハイテン材を使用した製品開発に必要な基礎データの蓄積を図ることができた。さらに、共同体を構成する企業間の協力体制強化と知識の共有化が図られ、各社の CAE 技術向上とコミュニケーションの活発化につながり、新たな製品開発の検討に入ることができた。まだ遅れ破壊に対応するた			

	めの形状変更や製品化にあたって、コストなどの課題は多く残されているが、解決に向けて各社が準備を進めるなど製品化への意欲は高い。 本事業終了後、1.2MPa 級の超ハイテン材を使用した「車載用トラックの道板」の製品化に向けて、ベンダー曲げ後の遅れ破壊に対して、最適な形状を決定するための CAE 解析を共同体各社で開始している。併せて建設架台の製品化に向けての検討もはじまった。4/12 に“はままつ超ハイテン研究会”の役員会を開催するなど、継続して研究を実施している。
計	
	166,090

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
マッチング件数	—	24 件	3 件
補助金提案採択件数	—	1 件	4 件

【年度総括】

平成 28 年度の新規事業として「オープンイノベーションフォーラム設立記念講演会」を皮切りに事業をスタートさせた。まずは、企業への情報提供を目的にフォーラムにて会員募集を行い、会員向けに毎週電子メールで財団最新情報や Linkers による大手企業からの技術や開発ニーズを提供した。Linkers の案件は技術レベルが非常に高いため、エントリーに躊躇する企業が多く、財団コーディネーター及びプロパースタッフが地域企業へ積極的に情報提案することで、23 件のマッチング支援につなげることができた。現在受注に至った案件はないが、発注企業との面談を経て、今後話を進めていくことになった案件が 1 件進行している。

マッチングの機会の提供として開催した「はままつ技術シーズ・ニーズ発表会」では、業態の異なる企業 4 社から、自社の特徴ある研究や技術の発表と協力企業などの募集を行った。発表会后、参加者から発表者に対しての見積り依頼や、発表者から参加者企業への工場見学など、新規取引につながる成果を生むことができた。

「アイデアソンを活用した企業間連携セミナー」では、新規事業やオープンイノベーションを展開するうえで有効な、アイデアソンの取り組み方を学んだ。セミナーの中では、ワークショップ的に企業同士による議論を行い、参加者から新しい取り組みの提案も生まれ、アイデアソンがイノベーションの手法として有益であることが認識できた。

平成 29 年度には、参加企業を中心に企業訪問を実施し、各社のニーズ及びシーズの蓄積を図りながら、新技術・新製品の開発テーマを把握することで、技術開発を軸とした企業間連携の可能性を探っていく。

また、共同研究支援補助金については、1 件の申請及び採択であったが、3 者以上での共同体による申請が数居を上げているとの声が聞かれたため、平成 29 年度においては、2 者以上の共同体による申請を可能とすることで、申請数及び採択数の増加を図る。

19 新産業創成事業

決算額 4,363,332 円（予算額 5,000 千円）＜浜松市委託＞

決算額 144,380 円（予算額 250 千円）＜自主財源＞

【目的】

成長 6 分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）の新たな技術や製品の円滑な事業化に向けた「事業化可能性調査」を促進する。

【実施内容】

(1) 国内事業化可能性調査費補助金

浜松市内の中小企業者が新たな技術や製品を事業化するために実施する事業化可能性調査に対して補助金を交付した。

公募期間：平成 28 年 5 月 25 日（水）～6 月 30 日（木）

対 象：市内に住所又は主たる事務所を有する中小企業者

市内に住所又は主たる事務所を有する企業を設立し、新たに事業を開始しようとする中小企業者又は個人事業者

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：材料費・消耗品費、外注費、国内外において実施する調査委託料、専門家への相談料、国内調査に係る旅費

申請件数：12 件

採択件数：7 件

事業期間：交付決定後～平成 29 年 2 月 28 日（火）

交付決定額：2,991,411 円（7 件）

交付確定額：2,991,411 円（7 件）

< 交付企業一覧 >

（単位：円）

1	企業名	リンクウィズ(株)（浜松市北区）	確定額	493,881 円
	[内容] 産業用ロボットを用いた「ロボット計測」市場の調査			
	[成果と今後] 調査の結果、産業用ロボットを用いた「ロボット計測」の市場は間違いなく伸びる市場であることが分かった。開発を進めている「L-Qualify」のアップデート、製品品質の管理の必要性、また特許取得の優位性があることが確認できた。今後は、外部資金の調達、ロボットメーカーとのパートナーシップ販売の実施、特許戦略の立案を行っていく。			
2	企業名	㈱ころこ（浜松市中区）	確定額	500,000 円
	[内容] メニュー翻訳クラウドサービス グルメニ			
	[成果と今後] 外国人観光客の増加に伴い、飲食店メニュー翻訳クラウドサービス「グルメニ」に対して、食材ピトグラム（絵文字）の需要が高いことが分かった。今後は、設定作業の簡素化、ピトグラムの定義とハラル認証の切り分け、ピトグラムの権利化、インバウンドだけではなく、日本人向けのサービスとして利用できないか検討していく。			
3	企業名	ショーダテクトロン(株)（浜松市西区）	確定額	500,000 円
	[内容] 医療現場のニーズに基づいた「バイトガード」（試作品）の事業化可能性調査			
	[成果と今後] 浜松医科大学との共同研究で「バイトガード」を試作し、製品の市場調査、機能性調査を行った。量産試作評価では、ブロックの破断はなく高水			

	準消毒に耐えられることが分かった。 今後は、量産試作の臨床評価に向けて、化学的安全性確認のための生物学的安全性評価を実施する。その後、問題が無ければ、2017年6月頃を目標に販売を行っていく予定である。		
4	企業名	(株)SPLYZA（浜松市中区）	確定額 500,000 円
	[内容] スポーツチーム向け動画共有／分析アプリケーション		
	[成果と今後] アマチュアスポーツ向けの動画に特化したコミュニケーションツールである「Spoch」の開発に関する市場調査の結果、操作性に関する要望が多くあり、操作の大幅改定を行った。大手スポーツメーカーとの販売委託契約、スポーツリーグへの提供も決まった。また、先行技術調査も行い特許性が確認できたため特許出願も行った。今後は、競技に特化した機能追加などターゲットを絞ったうえで、ユーザーの囲い込みを行ってくと共に、海外展開も進めていく。		
5	企業名	ノブオ電子(株)（浜松市西区）	確定額 247,530 円
	[内容] 分光モジュール組込み型製品群の事業化可能性調査		
	[成果と今後] CUD 対応色見台に分光モジュールを組み込み、デモ実験を行った。東京オリンピックの開催に向け、CUD への関心が高まっている事と、他に CUD 対応色見台は販売されておらず、市場性があることが分かった。また、LED 電子色票への分光モジュールの組み込みも行い、環境光補正は現状では困難だが、LED スペクトルのモニタリング用として売れる可能性があることが確認できた。今後は、CUD 対応色見台の事業化、分光モジュールのみの販売ができないか検討していく。		
6	企業名	(株)ロジフル（浜松市中区）	確定額 500,000 円
	[内容] 高速画像処理ボード組込電源ユニット事業化可能性調査		
	[成果と今後] 高速画像処理ボード電源のユニット仕様の把握、他社製品解析、特許、市場調査を行った。市場規模は、コンピューター機器として約 700 億、内電源部として約 200 億円規模となり、将来的に見通しは明るい。また IoT 産業の拡大もあり、映像・画像処理技術が進むことが予想され、それらの電源として活用できることが確認できた。今後は電気性能・特性に合せた製品開発、生産体制の確立、特許申請を行っていく。		
7	企業名	(株)分光応用技術研究所（浜松市中区）	確定額 250,000 円
	[内容] ファイバ方式分光イメージングユニット装置の事業化可能性調査		
	[成果と今後] ファイバ入力型の分光イメージングユニットの試作と市場調査を行った。複数の分光器使用の場合、他分光器との干渉は無いが、本製品は 1 個のセンサーを使うため、イメージングユニット内での迷光等により他チャンネルの信号に干渉される可能性が有ることが確認できた。また市場調査では、分光イメージングでの皮膚測定の実用性が多いことが分かった。現時点で透明度を測定できるものではなく、分光学的に正確に調べる装置は、測色用の分光器以外にはない。今後は、より低明度特性の反射材を探し、無反射コート of 精度向上等の対策を行いながら最終製品を完成させると同時に		

	特許出願も行っていく。
計	2,991,411 円

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
補助金提案採択件数	6 件	7 件	6 件

【年度総括】

平成 28 年度の補助事業実施にあたり、申請企業の利便性を考慮し、要綱の見直しを行った。補助申請件数は、平成 27 年度より 4 件多い 12 件の申請があり、企業訪問活動や支援施策ガイドでの情報発信を充実させたことによって申請が増加したと思われる。申請 12 件に対して審査会を実施し、7 件の案件を採択した。なお、一次募集で予算枠に達したため二次募集は実施しなかった。

また、採択企業に対して適正な事業執行がされるよう経理説明や進捗管理等を行い、平成 29 年 3 月 21 日に成果報告会を開催した。採択企業は、試作開発や市場調査の結果により、事業化の可能性や課題点等把握することができ、事業化を推進することができた。

今後は、採択企業に対して、事業化の促進を図るため、技術指導等のフォローアップや販路開拓、専門家派遣や助成金制度等の紹介を含めて支援を行っていく。

(2) 新産業調査

【目的】

浜松市が戦略的に支援する産業分野として位置づけている成長 6 分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）に関する情報提供や意見交換を通じて、新事業分野の発掘や展開可能性の検討を行うと共に、展開・参入につながる事業化研究会の設置の足がかりとする。

【実施内容】

昨今、注目を浴びている新素材や IoT 関連分野の最新情報を地域企業へ情報発信するとともに、これらの分野に対する地域企業の取り組み状況を調査することを目的として、各種セミナーを開催した。また、必要に応じて企業訪問を実施し実情に応じたサポートを行った。

ア テーマ① 「中小企業のための水素技術活用・参入セミナー」

開催日：平成 29 年 1 月 30 日(月)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

講 師：経済産業省関東経済産業局 資源エネルギー環境課 大森 潤平 氏
地域振興課 宮崎 信樹 氏

内 容：水素技術に関する国の動向と中小企業の参入に向けて

講 師：豊田通商(株)（愛知県名古屋市）営業開発部 部長補佐 長島 康明 氏

内 容：水素社会の課題とビジネスの可能性

講 師：(株)アツミテック（浜松市西区）

環境技術センター センター長 内山 直樹 氏

内 容：環境対策への取り組みと水素吸蔵合金による水素タンク開発

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：41 社 57 名（定員：100 名、申込：67 名）

[市内] 企業 35 社 51 名、行政・産業支援機関 2 機関 2 名

[市外] 企業 6社 6名、行政・産業支援機関2機関2名

イ テーマ② 「IoT が中小製造業にもたらす創造価値とは」

開催日：平成 29 年 2 月 9 日(木)

会 場：グランドホテル浜松

講 師：東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 稲田 修一 氏

内 容：IoT/データ活用による価値創造戦略

事例発表：①「NTT ドコモ IoT の取り組み」

(株)NTT ドコモ IoT ビジネス部 担当部長 那須 和徳 氏

②「1Day 生産システム構築に向けた IoT 活用

サクラ工業(株) (浜松市東区) 本社工場 次長 高橋 徹 氏

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：77 社 126 名 (定員：100 名、申込：158 名)

[市内] 企業 59 社 104 名、行政・産業支援機関 4 機関 5 名

[市外] 企業 18 社 22 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

ウ テーマ③ 「自動走行システムの現状と参入の可能性」

開催日：平成 29 年 3 月 23 日(木)

会 場：グランドホテル浜松

講 師：国立研究開発法人産業技術総合研究所 ロボットイノベーション
研究センター 総括研究主幹 松本 治 氏

内 容：次世代交通システムを実現するパーソナルモビリティの自動走行への
取り組み

講 師：静岡大学学術院 情報学領域 准教授 木谷 友哉 氏

(株)シーポイントラボ 取締役社長 青木 悠樹 氏

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：37 社 60 名 (定員：100 名、申込：80 名)

[市内] 企業 29 社 50 名、行政・産業支援機関 4 機関 7 名

[市外] 企業 8 社 10 名、行政・産業支援機関 2 機関 3 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
新規プロジェクト創出	—	0 件	1 件

【年度総括】

平成 28 年度は、水素・IoT・自動走行システムの 3 テーマで、地域企業のニーズや
取り組み状況、新事業展開の可能性を調査するためのセミナーを開催した。

新規プロジェクト創出までは至らなかったが、各セミナーの状況は以下のとおりで
す。

- ①水素技術の活用・参入の可能性については、同分野で事業化に取り組んでいる企業
を訪問し、相互の取り組み状況と今後の展開などについて情報交換する場を設定す
ることとなった。
- ②自動走行システムにおいては、セミナー後の企業訪問によるヒアリングにて、将来
的に自社製品と高精度位置情報及び IoT を組み合わせた新サービスを検討してい
る話を伺うことができ、マッチングに向けて調整を行っている。
- ③IoT 活用に関しては、光産業創成大学院大学との共催でセミナーを実施。依然とし

て情報収集の段階にある企業が多く、特に中小企業における取り組み事例や AI・ビッグデータとの組み合わせに関心が高いことが把握できた。

これらを踏まえ、平成 29 年度は、中小企業における IoT と AI を組み合わせた事例及び製造現場における IoT などの活用について情報を提供することで、地域企業の新たな事業展開の促進を図っていく。

20 地域イノベーション戦略推進事業（浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション）

決算額 119,599,357 円（予算額 145,415 千円）＜国・事業参加負担金＞

【目的】

「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」構想に基づいて、光・電子関連技術を基盤に「輸送機器用次世代技術産業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」「新農業」の 4 つの産業の基幹産業化を推進する。

【実施内容】

文部科学省の採択を受けた「地域イノベーション戦略支援プログラム」を推進し、4 つの戦略分野（輸送機器用次世代技術、新農業、健康・医療、光エネルギー）の基幹産業化を図るため、事業ごとに主体企業を中心としたまとまり（ユニット）を形成し、事業化に向けて強力に支援した。

当プログラムの最たる目的は地域の技術・研究シーズの事業化を図り、新産業の創出を進めるものである。このため、プログラムの最終年度を迎え、最大限の成果を挙げられるよう、既存の事業化ユニットについて、事業化の実現性や知的クラスター創成事業の技術シーズの活用、他用途への応用の可能性など、地域経済への波及効果等により優先順位付けを行い、地域連携コーディネーター（以下、「地域連携 CD」という。）による人的支援と予算を重点的に投入した。

重点化に当たっては、プログラム終了後の持続的な事業化を見据え、当地域の強みである先端光技術の応用や招へい研究者の成果の活用を推進する。また、知的クラスター創成事業の成果など地域大学や企業の持つ優れた技術シーズを活用した製品化、事業化も積極的に推進する。これらに加えて、地域で開発された技術の国際及び国内標準化の取組も推進した。

更に、世界市場への出口戦略を構築するため、「国際技術動向調査ユニット」により、地元技術の海外での評価や市場動向に関しての調査を行った。

プログラムの最終年度にあたり、これまでの成果を記載した終了評価に係る自己評価報告書を平成 28 年 9 月 20 日に文部科学省へ提出し、11 月 21 日には文部科学省の評価委員による現地ヒアリングを受けた。結果として、全般的に当初の目標を大幅に達成している点などが評価され、総合評価において「A」をいただいた。

(1) 異分野・他分野融合の場「知のプラットフォーム」

イノベーションアリーナ事業として、地域の産学官金が結集し、事業化ユニットの課題及び解決策を議論しながら事業化を推進した。

ア イノベーションアリーナ運営会議等の開催

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーションの主要戦略である「大学等の知のネットワーク構築」を推進するため、第 1 四半期に、イノベーションアリーナ運営会議を 1 回、4 大学連絡会議を 1 回開催し、アリーナ活動の全体管理・調整を行った。また、事業の最終年度ということもあり、同会議において終了評価報告書の

策定に関する議論を行った。

イ 事業化検討セミナー等の開催

地域企業を対象とするセミナーを第1四半期に1回、第2四半期に2回、第3四半期に4回、第4四半期に3回開催した。

No	開催日	テーマ	参加者
1	5月19日(木)	電子回路設計者向けフォローアップセミナー 演習付き NiosII入門編トライアル・ワークショップ	5名
2	9月8日(木)	IoT ハンズオンセミナー	23名
3	9月26日(月)	薬機法入門編セミナー [薬機法の概要]	42名
4	10月21日(金)	第12回電子回路設計者向け技術セミナー in 浜松『初めて使う ARM® Cortex®-A プロセッサ導入講座』	44名
5	10月31日(月)	医療機器分野参入セミナー「医療機器分野参入の進め方について」	36名
6	11月22日(火)	薬機法実践編セミナー「QMS省令対応について」	25名
7	12月16日(金)	医療機器分野参入セミナー「医療機器産業向け品質マネジメントシステム ISO 13485:2016 の概要と改定点」	37名
8	2月8日(水)	「ARM®Cortex®-M」搭載マイコン 体験ワークショップ STM32-Discovery を使用した MDK-ARM ハンズオンセミナー	14名
9	2月24日(金)	「ARM®Cortex®-A」搭載ハイエンドマイコン 体験ワークショップ	10名
10	2月24日(金)	医療機器分野参入セミナー「指定高度管理医療機器の認証申請のポイントとノウハウ」	24名

ウ 展示会への出展等

支援成果である製品や試作品の販路開拓を図るため、展示会等への出展支援等を第1四半期に7回、第2四半期に5回、第3四半期に10回、第4四半期に8回行った。

No	開催日	名称	会場	備考
1	4月6日(水)～8日(金)	第3回光計測・分析機器展	東京ビッグサイト	(有)パパラボ(浜松市中区)の販路拡大支援ほか
2	5月17日(火)～18日(水)	新技術・新工法展示商談会 in 太田	大田区産業プラザ	(有)アステック開発(浜松市北区)、(有)パパラボの販路拡大支援ほか
3	5月18日(水)～20日(金)	レーザーEXPO2016	パシフィコ横浜	パイフオニクス(株)(浜松市東区)の販路拡大支援ほか
4	6月4日(土)～5日(日)	日本色彩学会第47回全国大会 併設展示会	名城大学天白キャンパス	ノブオ電子(株)(浜松市西区)の販路拡大支援ほか
5	6月8日(水)～10日(金)	画像センシング展2016	パシフィコ横浜	ノブオ電子(株)の販路拡大支援ほか

6	6月17日(金) ～18日(土)	ものづくり 2016 in 東三河	豊橋市総合体 育館	ショーダテクトロン(株) (浜松市西区)、(有)アス テック開発の販路拡大支 援ほか
7	6月29日(水) ～30日(木)	人とくるまのテクノ ロジー展 in 名古屋	ポートメッセ なごや	(有)アステック開発、(有)パ パラボの販路拡大支援ほ か
8	7月20日(水) ～21日(木)	ビジネスマッチング フェア in Hamamatsu 2016	アクトシティ 浜松	(有)パパラボ、ノブオ電子 (株)、(有)アステック開発、 ショーダテクトロン(株)の 販路拡大支援ほか
9	7月20日(水) ～22日(金)	第40回プラントメ ンテナンスショー	東京ビッグサ イト	トヨコー(株)(研究所: 浜松市西区)の販路拡大 支援ほか
10	8月25日(木)～26 日(金)	産学パートナーシッ プ創造展	東京ビッグサ イト	(有)パパラボの販路拡大 支援ほか
11	9月7日(水)～ 9日(金)	JASIS2016	幕張メッセ	(有)パパラボの販路拡大 支援ほか
12	9月28日(水) ～30日(金)	JIMA2016 第8回 総合検査機器展	東京ビッグサ イト	(株)マイクロフィックス (浜松市東区)の販路拡 大支援ほか
13	10月4日(火) ～7日(金)	食品開発展 2016	東京ビッグサ イト	(有)パパラボの販路拡 大支援ほか
14	10月4日(火) ～7日(金)	CEATEC Japan	幕張メッセ	パイフォトンクス(株)の販 路拡大支援ほか
15	10月11日(火) ～10月13日 (木)	micro photonics 2016	メッセ・ベル リン/ベルリン 国際見本市会 場	(有)パパラボ、ノブオ電子 (株)、パイフォトンクス(株) の販路拡大支援ほか
16	10月28日(金) ～10月29日 (土)	ISMICS 2016 Winter Workshop	ウェスティン 都ホテル京都	(株)アールテック(浜松市 東区)の販路拡大支援ほ か
17	10月31日(月) ～11月2日 (水)	新価値創造展/ビジ ネスフロンティアフ ェア	東京ビッグサ イト	(株)サイクリエイト、パイ フォトンクス(株)の販路 拡大支援ほか
18	11月3日(木) ～11月5日 (土)	日本臨床麻酔学会第 36回大会	高知市文化プ ラザ「かるぽ ーと」	ショーダテクトロン(株)の 販路拡大支援ほか
19	11月16日(水) ～11月18日 (金)	国際放送機器展 (Inter BEE2016)	幕張メッセ	ノブオ電子(株)の販路拡大 支援ほか
20	11月17日(木) ～11月22日 (火)	JIMTOF2016 第28回日本国際工 作機械見本市	東京ビッグサ イト	(株)マイクロフィックスの 販路拡大支援ほか
21	11月30日(水)	中小企業新ものづく	東京ビッグサ	(有)パパラボの販路拡

	～12月2日 (金)	り新サービス展	イト	大支援ほか
22	12月7日(水) ～12月9日 (金)	国際画像機器展	パシフィコ横 浜	ノブオ電子(株)の販路拡大 支援ほか
23	1月18日(水) ～20日(金)	第1回スマート工場 EXPO	東京ビッグサ イト	(有)パパラボの販路拡大支 援ほか
24	1月18日(水) ～20日(金)	第3回自動車部品& 加工 EXPO	東京ビッグサ イト	(株)トヨコーの販路拡大支 援ほか
25	2月9日(木)	オープンイノベーシ ョンを通じての技術 交流	パナソニック (株)AVC ネット ワーク社	パナソニック(株)AVC ネ ットワーク社との技術交 流
26	2月15日(水) ～17日(金)	新機能性材料展 2017	東京ビッグサ イト	支援先企業の販路拡大支 援ほか
27	2月15日(水) ～17日(金)	SURTECH2017 表 面技術要素展	東京ビッグサ イト	(株)トヨコーの販路拡大支 援ほか
28	2月15日(水) ～17日(金)	nano tech2017	東京ビッグサ イト	支援先企業の販路拡大支 援ほか
29	3月1日(水)～ 3日(金)	PV EXPO 2017	東京ビッグサ イト	支援先企業の販路拡大支 援ほか
30	3月7日(火)～ 10日(金)	建築・建材展 2017	東京ビッグサ イト	(有)パパラボの販路拡大支 援ほか

(2) コーディネーター人材の充実

地域のコーディネーターの質の向上と人材育成の取り組みを充実させるため、特に研究成果の実用化・事業化を統括的にマネージメントができるプロデュース能力を持った人材を育成することを目的に CES (Coordinator Eco-System) 活動を推進した。

ア CES 研修会等 (コーディネーター育成のための講習会等)

No	開催日	テーマ
1	6月16日(木)～ 17日(金)	産学連携学会 第14回大会 ・地域登録機関の一般講演：8件

(3) グローバル展開の強化

国際技術動向調査ユニットにおいては、世界市場への出口戦略を構築する取組を継続している。また、JETRO 浜松及び JETRO ベルリンの協力を得ながら、イエナ市やベルリン市を含めたドイツ市場への参入を目指す取組を行うほか、浜松市委託事業等と連携しながら他地域への市場参入も目指して行く。

ドイツとの交流促進を目指し、平成 28 年 4 月に、フォトニクス 2016 (東京) 会場にて、ベルリン・パートナー及びオプテック BB と意見交換を実施した。

7 月には、JETRO 浜松と連携し、ビジネスマッチングフェア in 浜松へのドイツ企業バイヤーを招へいし、地域企業との情報交換を行った。

8 月 31 日から 9 月 1 日にかけて、オプトネット BB 等のドイツ企業が来浜し、浜松地域企業とのビジネスマッチングや投資セミナーを開催した。また、浜松市長出席の下、産業交流に関する覚書を再延長した。

10 月 11 日から 13 日には、ドイツ市場でのビジネスマッチングを進めるため、浜松地域の光関連企業とともに海外展示会 (独 micro photonics 2016) へ出展し、成果

品の展示や浜松地域の光関連産業の紹介を行った。

12 月には、チューリングン州開発公社の担当者等が来浜し、オプトネクスト構想等の浜松地域の取組について意見交換を行った。

(4) 長期的教育システムの研究

本地域出身者が、将来の地域産業を支え、また、世界を舞台に研究開発分野で活躍できるよう、卓越した人材を育成する長期的かつ先進的な教育システムの導入を図った。

ア 長期的教育システム研究チームの開催

産学官の関係者からなる「長期的教育システム研究チーム（座長：静岡大学理事（研究・社会産学連携担当）／副学長・イノベーション社会連携推進機構長 木村雅和氏）」において、具体的な教育システムのあり方や実現方策について検討してきた。

イ 「MATH やらまいか」の開催

小学生が算数の競技を通して、よく見る力・よく聞く力・よく考える力（着眼・推理・分析・思考力）を養うことができる大会として、インターネットによる算数ゲーム「MATH やらまいか」を開催した。

【予選】

期 間：平成 28 年 10 月 1 日（土）～10 月 31 日（月）

参加方法：インターネットによる Web 参加（参加費無料）

対 象：小学生

参 加 者：約 1,000 名

【本選（決勝）】

開 催 日：平成 28 年 12 月 10 日（土）

会 場：浜松科学館ホール

対 象：予選ランキング上位者のうち、当日参加可能な小学生 30 名（ただし、浜松市外の小学生については、予選ランキング 30 位以内、かつ、最大 10 名までを対象）

ウ 教育シンポジウムの開催

長期的教育システム研究チームの活動を地域の方々に理解していただくため、「教育シンポジウム」を開催した。

開 催 日：平成 28 年 11 月 26 日（土）

会 場：浜松科学館ホール

出 席 者：浜松市内及び近隣の小中学生の保護者、教職員・教育関係者ほか

内 容：①トップガン表彰式・プレゼンテーション

②基調講演（講師：名古屋大学 天野浩教授）

定 員：230 名

エ ダヴィンチキッズプロジェクト（サイエンスダヴィンチ）

理系に優れた素養を持つ小・中学生を対象に、さまざまな実験や工作等を体験しながら未来の理数系人材の育成を目指し、基本概念習得（講座）及び発表会を実施した。

オ ダヴィンチキッズプロジェクト（ものづくりダヴィンチ）

静岡大学工学部内において、親子で一緒に手を動かして本格的な工作を行いながら、回路や電気についてなど、ものづくりの基礎を学ぶ講座を開催した。講座は材料加工から組み立てまで自力で作るプロセスの実体験を重視し、企業での実務経験者の指導のもと、後々まで使うことのできるものづくりを目指した。

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
特許等出願数	144 件	139 件	177 件
査読論文数	1,278 件	1,365 件	1,440 件
参画企業数	105 件	130 社	50 社
新規雇用者数	107 名	88 名	55 名
事業化数	112 件	117 件	65 件

【年度総括】

平成 24 年 6 月に文部科学省に採択された地域イノベーション戦略支援プログラム「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション・支援プログラム（補助事業）」の最終年度を迎え、平成 28 年度は、事業化ユニットの増加など、昨年度までの取り組み成果を踏まえ、イノベーションアリーナ活動の充実や地域の各機関・大学に配置されている既存のコーディネーターによる組織（コーディネーターエコシステム）との積極的な連携による体制強化を更に進めるとともに、4 つの戦略推進計画に基づき、関係機関との情報共有を図りながら、事業化を積極的に進めた。

事業化ユニットは、輸送機器用次世代技術、新農業、健康・医療、光エネルギーの 4 戦略分野において、事業化の可能性の高い案件を中心に、平成 29 年 3 月末までに 42 件を構築している。

また、事業化ユニットは、その目標、開発ステージ、規模によって国、県、市の研究開発補助金を活用しており、平成 29 年 3 月末までに 20 件応募し、14 件採択された。知的クラスター創成事業の研究成果の応用については、競争的資金の獲得を支援しながら、試作品や応用製品の開発を進めている。

国際連携活動は、平成 28 年 4 月に、フォトニクス 2016（東京）会場にて、ベルリン・パートナー及びオブテック BB と意見交換を実施したほか、8 月及び 9 月にドイツとのビジネスマッチングや投資セミナーを開催するとともに、ドイツとの産業交流に係る覚書を延長した。10 月には、海外展示会（独 micro photonics 2016）への浜松地域企業の出展を支援した。今後も、JETRO 浜松及び JETRO ベルリンの協力を得ながら、イエナ市やベルリン市を含めたドイツ市場への参入を目指す取組を進めて行く。

また、終了評価に係る自己評価報告書を平成 28 年 9 月 20 日に文部科学省へ提出した後、11 月 21 日に文部科学省評価委員による現地ヒアリングを受け、本プログラムの成果を説明した。結果として、全般的に当初の目標を大幅に達成している点などが評価され、事業としての総合評価において「A」をいただいた。

今後は、本プログラムの大きな柱である「本地域の特性を活かした持続可能な発展」を可能とする仕組みづくりを念頭に、新たにフォトンバレーセンターを設置し、プログラム終了後における地域の体制整備に向けた関係機関との連携を重視しつつ、着実な事業推進に取り組んでいく。

併せて、平成 28 年 9 月に静岡大学及び浜松市が申請した「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術」が、文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されたことを受け、本財団は、当該プログラムにおける「自治体が指定する機関」として国費を活用し、低侵襲立体内視鏡等の事業化プロジェクト成果を海外展開や新たな産業基盤の構築に向け推進して行く。

2 1 国等の研究開発事業化支援事業

決算額 81,904,886 円（予算額 89,106 千円）＜国委託＞＜国補助＞

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市などの各種競争的資金を活用して、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を支援する。

【実施内容】

経済産業省などが行う研究開発補助（委託）事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり高度化法」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

(1) 新規提案の申請支援

平成 27 年度開催のサポインチャレンジセミナー参加企業から申請相談が 6 件あり、財団が管理法人として 3 件の新規申請に至り、うち 1 件が採択となった。

ア 農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発（1 年目）

研究機関：静岡製機(株)（袋井市）、静岡大学、静岡県工業技術研究所

実施期間：平成 28 年度～30 年度

補助金交付確定額：44,910 千円

(2) 事業管理機関の継続

ア 次世代自動車用、超薄肉ステンレス製「箱型 電池ケース」の開発と事業化（3 年目）

研究機関：国本工業(株)（浜松市東区）、静岡大学

実施期間：平成 26 年度～28 年度

補助金交付確定額：11,677 千円

イ アルミ難加工材・テーパ管の一体成形加工技術の開発（2 年目）

研究機関：鈴覚(株)（浜松市南区）、静岡大学

実施期間：平成 27 年度～29 年度

補助金交付確定額：29,955 千円

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
サポイン提案支援件数	1 件	3 件	3 件
サポイン提案採択件数	1 件	1 件	3 件
サポイン継続案件事業管理業務	5 件	2 件	2 件

【年度総括】

サポイン提案の新規案件 3 件について、関東経済産業局や中小機構アドバイザーと連携・調整しながら申請支援を実施し、1 件が採択された。継続案件 2 件を含め、3 件に対して事業管理機関業務を問題なく遂行した。

平成 29 年度においても、地域企業の研究開発に関する情報収集を行いながら、新規案件を探索し、申請支援を実施していく。

2 2 競争的資金等獲得支援事業

決算額 1,361,252 円（予算額 1,500 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市の各種競争的資金の獲得を支援することで、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を促進する。また、競争的資金獲得の有効性や支援制度を効果的に PR するため支援施策ガイドブックを作成し情報発信を行う。

【実施内容】

浜松地域の中小企業が効果的な補助金を積極的に活用し、新産業の創出につなげるため「競争的資金等獲得支援セミナー」の開催に加え、フォローアップとして個別相談を実施した。また、セミナー参加企業に対し、競争的資金獲得へ向けた取り組みを把握するためのアンケート調査を実施し、効果的な支援策の構築につなげた。さらに、各種補助金などの支援制度や競争的資金獲得による成果事例などを発信するガイドブックを作成した。

(1) 競争的資金等獲得支援セミナー

開催日：平成 28 年 11 月 29 日（火）

会 場：グラントホテル浜松

内 容：演題①／経済産業省補助メニューの説明

講 師／経済産業省関東経済産業局

演題②／中小企業が活躍できる技術を取得するには

講 師／(株)ヴィッツ（愛知県名古屋市） 代表取締役 服部 博行 氏

受講料：〔市内〕無料、〔市外〕1,000 円

参加者：30 社 33 名（定員：50 名、申込：39 名）

〔市内〕企業 28 社 31 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

〔市外〕企業 2 社 2 名、行政・産業支援機関 1 機関 4 名

個別相談会：4 社

(2) 補助金獲得支援セミナー

開催日：平成 29 年 2 月 22 日（水）

会 場：グラントホテル浜松

内 容：演題①／サポイン事業など経済産業省補助メニュー

講 師／経済産業省関東経済産業局

演題②／NEDO の支援事業

講 師／国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
（以下 NEDO）イノベーション推進部

演題③／JST における産学連携・技術移転の取組

講 師／国立研究開発法人 科学技術振興機構（以下 JST）
産学連携展開部

演題④／小規模企業でも勝ち取るためのサポイン対策

講 師／(株)内山刃物（浜松市中区） 代表取締役 内山 文宏 氏
個別相談会

受講料：〔市内〕無料、〔市外〕1,000 円

参加者：32 社 35 名（定員：50 名、申込：39 名）

〔市内〕企業 28 社 31 名、行政・産業支援機関 2 機関 10 名

〔市外〕企業 4 社 4 名、行政・産業支援機関 4 機関 6 名

(3) 支援施策ガイド 2016 制作

発行日：平成 28 年 4 月 25 日（月） ※増刷：平成 28 年 7 月 1 日（金）

部 数：2,000 部 ※増刷：1,500 部

規 格：A4 サイズ、20 頁

内 容：財団、浜松市、経済産業省など、7 団体の支援メニュー紹介

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
セミナー等参加企業数	93 社	62 社	70 社
補助金採択支援企業数	4 件	3 件	3 件

【年度総括】

平成 28 年度の新規申請案件について、平成 27 年度サポインチャレンジセミナーによる掘り起こし案件を中心に申請支援を実施した。これにより、平成 28 年度新規申請企業数が 3 社となったため、第 1 四半期に予定していた競争的資金等獲得支援セミナーを取止め、ニーズの高い施策ガイドの増刷に事業内容を変更し、効果的な事業執行に努めた。

平成 28 年 11 月に第 1 回目の「競争的資金等獲得支援セミナー」を開催し、経済産業省関東経済産業局職員からサポイン事業とものづくり補助金などの説明及び㈱ヴィッツの服部氏からサポインを活用した新技術開発について講演いただいた。個別相談については、サポインの提案につながる具体的な相談はなかったが、各種補助金の内容を理解してもらうよい機会となった。

第 2 回目は、平成 29 年 2 月に浜松商工会議所の後援を得て開催した。経済産業省関東経済産業局職員からサポイン事業などの説明や NEDO と JST から支援事業の紹介を行った。㈱内山刃物の内山文宏氏から、補助金申請と結果の経緯、敗因分析、勝因分析などについて講演いただいた。個別相談については、まだ具体的な事業内容が決まっていない相談が多く、事業の方向性や採択につなげる方法等のアドバイスを行った。平成 29 年度も新規案件を発掘するための情報収集に努めていく。

また、地域の中小企業者に財団の事業及び支援機関などの支援メニューを周知する目的で、施策ガイドブックを作成した。主に財団コーディネーターが企業訪問する際に活用し、地域企業からは解りやすいツールと高評価をいただけた。平成 29 年度版では、内容をより充実させ、地域中小企業の事業展開支援に役立つツールを目指し作成していく。

2 3 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,540 円（予算額 500 千円）＜自主財源＞

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活動計画を実現するため、具体的には拠点長及び事業総括として 2 名を浜松医科大学内

に事務局を置く「拠点」に派遣し、提案機関の一つとして活動を支援した。

【年度総括】

平成 28 年度当初に年度計画を策定し、第 1・2・3 四半期は計画通り事業化支援の取り組みが実施できている。

また、第 3 四半期には、文部科学省の「地域科学技術実証整備事業」に浜松医科大学を中心とした医工連携拠点参画機関が連名で補助金の公募に共同申請し、平成 28 年 12 月末に採択された。

なお、はままつ医工連携拠点自体の平成 28 年度の具体的な活動成果及び平成 29 年度の事業計画などについては、本事業の主母体である「はままつ医工連携拠点 事業運営委員会」にて報告されるものである。

2 4 地域産業活性化支援事業

決算額 361,815 円（予算額 1,500 千円）＜自主財源＞

【目的】

静岡県西部地域を中心とした広域での地域産業の活性化を支援する。

【実施内容】

IoT など、次世代技術として注目を集める様々な最新技術動向などについて、静岡県西部広域の企業へ情報提供するためのセミナーなどを開催し、地域産業を活性化させるための施策を行った。

また、海外ビジネス展開支援を充実させるため、浜松市や関係団体と連携し、関連情報の収集・発信などを行った。

(1) オープンイノベーションによるオープンデータや IoT 事業活性化

ア 静岡県 IoT 活用研究会との連携

- ・静岡県 IoT 研究会の事務局を担う静岡県経済産業部商工業局をはじめとする 4 つの団体のひとつとして、研究会及び下部組織の各種部会の会議及びセミナーに 8 回参加した。
- ・（一社）インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ（東京都中央区、以下 IVI）を静岡県経済産業部商工業局に紹介し、IVI 地域セミナーの共催につなげた。

イ 地域連携

- ・オープンデータ浜名湖とデジタル地図で事業連携
- ・湖西市商工会主催の平成 28 年 10 月 20 日開催の IoT セミナーに事業連携

(2) 地域間交流技術調査

- ・平成 28 年 6 月 7 日開催の BCP 講座に板橋区企業 2 社を講師として招聘

(3) オープンイノベーションによる地域共催事業

ア 3D プリンターおよびレーザーカッター貸出事業「LOBBY LAB」

ベンチャー企業や起業を目指す個人を支援するとともに、地域企業の潜在ニーズを探る事を目的に、書籍 Maker's で示された 3 種の神器である 3D プリンターとレーザーカッターの貸出を平成 28 年 6 月より鴨江アートセンター（浜松市中区）と共同で行った。

<事前講習会>

会 場：鴨江アートセンター

講師：Apistec（埼玉県さいたま市） 代表 佐々木 隆太 氏
（第1回のみ）

鴨江アートセンター（浜松市中区） 拜田 真直 氏（全日程）

内 容：3D プリンター・レーザー加工機の使用法

- ・開催日：平成 28 年 5 月 29 日（日）
参加者：13 名（定員 10 名、申込：13 名）
- ・開催日：平成 28 年 6 月 16 日（木）
参加者：3 名（定員 10 名、申込：3 名）
- ・開催日：平成 28 年 7 月 17 日（日）
参加者：5 名（定員：10 名、申込：5 名）
- ・開催日：平成 28 年 8 月 16 日（火）
参加者：8 名（定員：10 名、申込：8 名） [市内] 8 名
- ・開催日：平成 28 年 9 月 10 日（土）
参加者：6 名（定員：10 名、申込：6 名） [市内] 6 名
- ・開催日：平成 28 年 11 月 26 日（土）
参加者：3 名（定員：10 名、申込：3 名） [市内] 3 名
- ・開催日：平成 28 年 12 月 21 日（水）
参加者：3 名（定員：10 名、申込：3 名） [市内] 3 名
- ・開催日：平成 29 年 2 月 15 日（水）
参加者：2 名（定員：10 名、申込：2 名） [市内] 2 名

<貸出>

- ・3D プリンター：12 件
- ・レーザーカッター：5 件

(4) アセアン地域を中心とした海外ビジネス展開支援事業

「浜松市海外経済交流推進協議会」における経済交流事業

内 容：浜松市がタイ、ベトナム、インドネシアの政府機関と交わした「経済交流に関する覚書」に基づき、市、経済界、産業支援機関等が一体となって市内中小企業の海外ビジネス展開を支援した。

(ア) タイ、ベトナム、インドネシアセミナー開催支援

(イ) タイ、ベトナム経済ミッション派遣支援

※平成 28 年度は財団職員の派遣は見送った。

(ウ) タイ商談会出展支援

【年度総括】

平成 28 年度は、鴨江アートセンターとの共同事業として、3D プリンター及びレーザーカッター貸出事業を開始した。財団からは同機材を提供し、鴨江アートセンターでは貸出業務及び講師のサポート業務を担当していただいた。受講者層は学生からクリエイター、大手製造業従業員など幅広く、ウッドライクフィラメント（木質系）の出力が行える 3D プリンターが少ないことなどから高評価を得ることができた。

しかし、中小企業が本格的な実務で使用する際には再度教育が必要になるなどの課題も見つかり、事業内容を再考する必要性が出てきた。また、本事業に関する中小企業支援としては、浜松工業技術支援センターに本格的な 3D プリンターが設置されていることから、本事業は平成 28 年度をもって終了し、平成 29 年度以降は浜松工業技術支援センターなどと連携しながら支援を実施していく。

静岡県中小企業制度融資及び新規産業立地事業費補助金

予算額一千円（予算額一千円）＜自主財源＞

【目的】

静岡県内に事業所、工場、店舗などがある中小企業者又は静岡県内で事業を始めようとする中小企業者が、成長分野である医療・健康関連産業（ファルマバレー）、食品関連産業（フーズ・サイエンス）、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進する。

【実施内容】

静岡県が実施する成長分野支援貸付及び新規産業立地事業費補助金について、クラスター産業分野のうち光・電子技術関連産業（フォトンバレー）に係る申請に対して、財団が定める当該事業確認要領に基づき、本制度の対象者及び資金使途の確認事務を行った。

(1) 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

公募期間：平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10 億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：10 件 1,175,000 千円

※平成 27 年度実績：5 件 165,000 千円

(2) 新規産業立地事業費補助金

公募期間：平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10 億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

補助実績：0 件

※平成 27 年度実績：1 件 609,831 千円

【年度総括】

平成 28 年度も昨年度に引き続き、当財団が静岡県における光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の推進機関として、県制度融資及び立地事業費補助金を県内企業に幅広く周知していくとともに、制度の活用を推進することで、フォトンバレー産業集積に寄与していく。また、平成 28 年度においてフォトンに関する制度融資について 10 件（合計約 11 億円）の審査を行った。

平成 29 年度は、県・市と連携して実施される広域支援展開やフォトンバレーセンター等により、本事業に係る光・電子技術関連産業の成長・発展を推進して行く。

7【拓く】販路開拓支援

25 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 9,209,379 円（予算額 10,000 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松市において製造業を営む中小企業者などの自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【実施内容】

(1) 展示商談会出展補助金事業

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業者に対し、出展に要する経費の一部を補助金として助成する。

助成額は、国内で開催される展示商談会の場合 200 千円、国外で開催される展示商談会の場合 500 千円を上限とし、補助対象経費総額の 2 分の 1 以内とする。

なお、2 社以上の企業が同一展示商談会に隣接出展する場合は上限額を 5 割り増しとする。また、国内外の特定の展示商談会に出展する場合は、3 年連続で出展補助申請を可能とし、販路開拓による成果の向上につなげる。

公募期間：平成 28 年 4 月 18 日（月）～5 月 20 日（金）

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者。又は、上記に該当するものを 1 者以上含み、研究開発を目的に 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）・500 千円（国外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費など

ア 国内 申請件数：33 件

採択件数：33 件

事業期間：平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）

交付決定額：6,472 千円（33 件） ※うち取り消し 2 件

交付確定額：5,812 千円（31 件）

＜交付企業一覧＞

（単位：円）

No	企業名	対象展示商談会	交付確定額
1	鈴木晒整理(株) (浜松市中区)	Premium Textile Japan 2017 spring/summer	200,000
2	(株)丸順 (浜松市北区)	2016 NEW 環境展	200,000
3	(株)ソフミックス (浜松市東区)	JPCA SHOW 2016	200,000
4	(株)ジャパンエコテック (浜松市北区)	2016 国際食品工業展 (FOOMA JAPAN)	200,000
5	東亜工業(株) (浜松市北区)	2016 国際食品工業展 (FOOMA JAPAN)	200,000
6	(有)太悦鉄工	防犯防災総合展 in KANSAI	191,000

	(浜松市東区)	2016	
7	橋本螺子(株) (浜松市東区)	リハビリ・介護産業展 2016	200,000
8	(株)イエロースタジオ (浜松市東区)	MONTAGE	200,000
9	(株)オプトメカトロ (浜松市中区)	JASIS2016	181,000
10	(株)スギヤマ (浜松市浜北区)	第 11 回しんきんビジネスマッ チング 2016	39,000
11	(有)豊岡クラフト (浜松市北区)	JWF-IFF	195,000
12	(株)ANSeeN (浜松市中区)	第 6 回総合検査機器展	200,000
13	(株)栄商会 (浜松市東区)	SITE 第 5 回新しい眼鏡の展 示会「サイト」	200,000
14	(株)山一木研 (浜松市中区)	2016 楽器フェア	採択取消
15	パイフォトンクス(株) (浜松市東区)	OPIE'16	200,000
16	(株)平野工業製作所 (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2016	200,000
17	ソフトウェアス(株) (浜松市中区)	人とくるまのテクノロジー展 2016	118,000
18	(株)テクニカルサポート (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2016	200,000
19	日本ビニロン(株) (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2016	200,000
20	(株)ジャパン・ミヤキ (浜松市東区)	人とくるまのテクノロジー展 2016	200,000
21	(株)カタナコーポレーショ ン (浜松市北区)	画像センシング展 2016	188,000
22	SAW&SPR・Tech(有) (浜松市中区)	第 20 回機械要素技術展 (日本 ものづくりワールド 2016)	125,000
23	互大商工(株) (浜松市南区)	第 20 回機械要素技術展 (日本 ものづくりワールド 2016)	200,000
24	(株)ミヤキ (浜松市西区)	第 20 回機械要素技術展 (日本 ものづくりワールド 2016)	200,000
25	杉田工業(株) (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋	200,000
26	澤木工房(株) (浜松市北区)	All about Photonics 2016 (InterOpto2016)	200,000
27	橋本エンジニアリング(株) (浜松市浜北区)	第 43 回国際福祉機器展 HCR 2016	200,000
28	(株)サツ川製作所 (浜松市南区)	びわ湖環境ビジネスメッセ 2016	200,000

29	株NOKIOO (浜松市東区)	2016 Japan IT Week 秋	採択取消
30	有ファームファクトリー (浜松市南区)	新価値創造展 2016	200,000
31	株サインクリエイト (浜松市南区)	新価値創造展 2016	197,000
32	株スカイロジック (浜松市北区)	国際画像機器展 2016	178,000
33	株桜井製作所 (浜松市北区)	オートモーティブワールド 2017	200,000

イ 海外 申請件数 : 5 件
採択件数 : 5 件
事業期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 (水) ~ 平成 29 年 3 月 31 日 (金)
交付決定額 : 2,921 千円 (5 件)
交付確定額 : 2,717 千円 (5 件)

< 交付企業一覧 > (単位 : 円)

No	企業名	対象展示商談会	交付確定額
1	株ブルーニングハーツ (浜松市浜北区)	KOFISH フィッシングショー	500,000
2	株ナノプロセス (浜松市西区)	Micro Photonics 2016	435,000
3	株TAK システムイニシア ティブ (浜松市浜北区)	Micro Photonics 2016	282,000
4	沢根スプリング株 (浜松市南区)	Medical Desigh & Manufacturing WEST 2017	750,000
5	株オノックスエムティー ティー (浜松市浜北区)	Medical Desigh & Manufacturing WEST 2017	750,000

【成果指標】

地域	項目	実績		目標
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
国内	①出展社数 (報告書受)	32 社	31 社	30 社
	②ブース来場者数	292 名	494 名	300 名
	③名刺交換数	82 名	103 名	100 名
	④商談件数	10 件	15 件	10 件
	⑤商談成立件数	37 件	52 件	10 件
海外	①出展社数 (報告書受)	2 社	5 社	4 社
	②ブース来場者数	290 名	1,280 名	300 名
	③名刺交換数	95 名	33 名	100 名
	④商談件数	17 件	5 件	10 件
	⑤商談成立件数	1 件	5 件	4 件

※②～④の実績数字は、1 社平均の数字

【年度総括】

平成 28 年度の展示会補助金は、第 1 四半期に公募を実施し、予算を大幅に上回る申

請があり、浜松市と予算調整を図りながら申請企業 38 社を全て交付決定した。平成 28 年度からスタートさせた企業訪問事業や財団施策ガイドの配布による財団支援メニューの PR 成果が公募結果に表れていると思われる。

平成 29 年度も引き続き、出展企業に対して財団 CD 及びプロパースタッフによる出展に対するフォローアップ支援を実施するとともに、マッチングの機会を創出していく。

2 6 浜松地域販路開拓・マッチング支援事業

決算額 1,010,422 円（予算額 2,000 千円）＜自主財源＞

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業などとの商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【実施内容】

(1) 特定メーカー企業向け商談会

浜松地域の主要産業である輸送機器関連分野の受注拡大、更には既存技術の応用による新事業分野への展開に向け、商工会議所との連携により、特定メーカー企業を対象とした個別商談会を実施し、浜松地域企業の販路開拓及びビジネスマッチングを支援した。

開催日：平成 28 年 11 月 16 日（水）～17 日（木）

会 場：トヨタサプライヤーズセンター

内 容：トヨタ自動車(株)とのマッチング技術商談会

参加者：38 社（遠州 31 社、東三河 4 社、飯田 3 社）

来場者：778 名

成 果：取引成立／1 件 ※参加企業に対するアンケート結果（12/27 時点）

試作依頼／1 件

見積依頼／31 件

後日商談／92 件

来場目的／技術開発参考（79.3%）、課題解決（39.6%）、新規開拓（34.6%）

(2) 浜松地域技術商談会

浜松地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）とその技術を求める企業（発注企業）との受発注型のマッチング会を開催し販路拡大を図った。

開催日：平成 28 年 10 月 21 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：光洋精機(株)（埼玉県）とのマッチング技術商談会

参加者：4 社

成 果：商談中

※12 月に提出した 3 件の見積りは通り、試作テスト中である。

※3 月時点で新規 2 案件の見積り依頼があり、対応中である。

(3) 浜松地域マッチング商談会への出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の支援メニューなどを PR する場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチング推進などの効果を促進した。

ア ビジネスマッチングフェア in HAMAMATSU 2016

開催日：平成 28 年 7 月 20 日（水）～21 日（木）

会 場：アクトシティ浜松展示イベントホール

内 容：戦略推進本部と連携したブースを設け、財団の支援成果を PR
戦略本部／(有)パパラボ（浜松市中区）「色・絵柄検査装置」、ショーダテ
クトロン(株)（浜松市西区）「内視鏡先端キャップ」の展示など
財 団／アクティブリンク（奈良県）「パワーアシストスーツ」実演、
浜松市「新産業創出事業費補助金」成果発表など

来場者：9,100 名

イ いわた産業振興フェア 2016

開催日：平成 28 年 11 月 11 日（金）～12 日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

内 容：財団の支援成果を中心とした PR ブースを設営
アクティブリンク(株)（奈良県）「パワーアシストスーツ」実演、橋本エン
지니어リング(株)（浜松市浜北区）「最軽量車椅子」の展示など

来場者：5,100 名

ウ 湖西 Neo テクノフェア 2016

開催日：平成 28 年 12 月 2 日（金）～3 日（土）

会 場：湖西市アメニティプラザ

内 容：財団の支援成果を中心とした PR ブースを設営
アクティブリンク(株)（奈良県）「パワーアシストスーツ」実演、橋本エン
지니어リング(株)（浜松市浜北区）「最軽量車椅子」の展示など

来場者：1,850 名

(4) 浜松商工会議所連携事業

輸送機器関連分野を主対象に、輸送機器メーカーが取り組んでいる製品開発や工
程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと浜松地域の中小企業の技
術・製品ニーズのマッチングを創出する展示会を開催した。

ア 新技術・新工法展示商談会 in 大田

開催日：平成 28 年 5 月 17 日（火）～18 日（水）

会 場：大田区産業プラザ Pio

参加社：浜松地域企業 15 社

(有)アステック開発(浜松市北区)、(株)インテグラ技術研究所(浜松市中区)、
(株)オノックスエムティーティー（浜松市浜北区）、(株)神谷理研（浜松市中
区）、(株)キャップ（周智郡森町）、杉田工業(株)（浜松市北区）、ナノ・ミ
ール(株)（浜松市北区）、(有)パパラボ（浜松市中区）、浜静クラフト(株)（浜松
市東区）、ハマニ化成(株)（浜松市西区）、パルステック工業(株)（浜松市北
区）、(株)ブローチ研削工業所（浜松市北区）、(株)ミヤキ（浜松市西区）、(有)
村木鉄工所（浜松市東区）、やまと興業(株)（浜松市浜北区）

成 果：提携先の開拓ができた／5 社、
自社技術ブラッシュアップに役立った／7 社
出展社間の交流ができた／1 社
技術ニーズの把握ができた／5 社 など

【成果指標】

項目※3	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
①出展社数	一社	38 社	50 社
②商談件数（取引成立）	一件	1 件	5 件

※1：成果指標は、(1)特定メーカー企業向け商談会による成果数字

【年度総括】

平成 28 年度は、販路開拓及びマッチング支援に力を入れた事業展開を計画し、大手企業向け技術商談会をはじめ、財団の PR を兼ねた浜松地域の技術商談会への参加などを実施した。

第 1 四半期は、大田区で開催した受発注技術商談会を浜松商工会議所と連携して実施した。出展企業からは、概ね満足できる商談会だったとの声も上がり、一定の成果を生み出すことができた。

第 2 四半期には、浜松地域技術商談会の企画を立案し、ニーズ企業の選定及び受注企業の公募を行い、地域企業 4 社が発注企業と面談し、3 社は見積り依頼までに至った。引き続きマッチング成果が出るよう後方支援を実施していく。

第 3 四半期においては、財団として地域のマッチング商談会（いわた産業振興フェア、湖西 Neo テクノフェア）に初出展し、平成 29 年度の広域事業展開を見据えた浜松近隣市町の企業へ PR を行うことができた。また、11 月に開催した TOYOTA との技術商談会では、来場数こそ前回ほどではなかったが、研究・開発部門の来場者が 24%と最も多く、技術開発の参考になったと高評価をいただいた。参加企業の満足度も概ね高く、後日商談に結び付いた案件が 92 件あり、今後に期待できる成果が見られた。

平成 29 年度は、事業計画に則って事業を遂行していくとともに、財団の自主マッチング商談会を 2 回程度開催し、マッチングの場をより多く創出していく。

※平成 28 年 3 月に実施した、ヤマハ発動機㈱（磐田市）とのマッチング技術商談会に進展が見られた（12/26 時点）。商談会に参加した地元中小企業 A 社では、モーターサイクル部品 2 案件での商談が進み、平成 29 年 4 月までに試作品を提出予定である。

2 7 海外ビジネス展開支援事業

決算額 3,429,342 円（予算額 4,500 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性を拡張する。

【実施内容】

(1)海外展開事業化可能性調査費補助金（海外 FS 補助金）

浜松市内の中小企業者が、技術や製品の強みを核にアジア地域などへの海外進出を目指して実施する事業化可能性調査に対して補助金を交付した。

公募期間：平成 28 年 5 月 9 日（月）～6 月 10 日（金）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者 2 者以上の者で組織された共同体

補助率：1/2

補助額：上限 500 千円

対象経費：国内外において実施する調査委託費用・専門家への相談費用など

申請件数：9 件

採択件数：9 件（うち、1 件事業中止）

事業期間：交付決定後～平成 29 年 2 月 28 日（火）

交付決定額：4,300,000 円（9 件）

交付確定額：3,428,440 円（8 件）

<交付企業一覧>

（単位：円）

1	企業名	㈱マルマツ（浜松市西区）	確定額	500,000 円
	〔内容〕 冷凍餃子の海外販路開拓に向けた市場調査			
	〔成果と今後〕 現地の一般消費者の嗜好や価格感が分かり、販路を拡大できる希望が見えた。今後、法規制の詳細調査を進めるとともに、有力な販売代理店又は卸売業者を選定し、海外展開を進める。			
2	企業名	渥美工業㈱（浜松市浜北区）	確定額	147,316 円
	〔内容〕 現地法人設立に向けた事業化可能性調査			
	〔成果と今後〕 法人設立の手続き方法や費用、複数の工業団地の環境、労働条件が分かった。関税率の見直しによって、取引先からの受注時期や数量が変更となる可能性もあるため、今後の動向を注視しながら平成 31 年を目途に海外進出を検討する。			
3	企業名	㈱ブルーニングハーツ（浜松市浜北区）	確定額	500,000 円
	〔内容〕 ハンドメイド生産のルアーをはじめとする釣り用品の海外販路開拓に向けた市場調査			
	〔成果と今後〕 現地での地元住民、観光客の釣法のトレンド、効果的な販売促進方法が把握できた。今後は、釣法のトレンドの変化に合わせた商品選定、店頭価格を抑えるための方法を検討し、平成 29 年度を目途に海外展開を進める。			
4	企業名	㈱久米（浜松市東区）	確定額	採択取消
	〔内容〕 管楽器修理工具「デント X」の海外販路開拓に向けた市場調査			
	〔成果と今後〕 出展を予定していた展示会に、調査対象先のほとんどが来場することが分かり、本補助金を活用した調査の必要がなくなったため事業を中止した。			
5	企業名	太田義尾機械工業㈱（浜松市東区）	確定額	401,124 円
	〔内容〕 現地法人設立に向けた事業化可能性調査			
	〔〔成果と今後〕 現地日系企業がプレス機器等の修理・メンテナンスにおいて苦慮しており、ニーズがあることが分かった。日系企業の進出先が広範囲かつメーカーの進出先が分かれているため、進出先を十分吟味しながら、プレス機を中心とした中古機械の販売を先行して開始し、平成 30 年を目途に海外への進出を進める。〕〕			
6	企業名	㈱田中建設（浜松市北区）	確定額	500,000 円
	〔内容〕 浜松産養鰻の海外販路開拓に向けた市場調査			
	〔成果と今後〕 高品質、高付加価値、商品トレーサビリティが確保できれば、十分に販路を確立できる可能性があることが分かった。一方、価格競			

	争のためには自社での輸出、現地販売代理店の選定など慎重に行っていく 必要があり、5年後を目途に海外進出を図る。		
7	企業名	㈱ころ (浜松市中区)	確定額 450,000 円
	〔内容〕メニュー翻訳クラウドサービス「グルメニ」の海外販路開拓に向けた市場調査		
	〔成果と今後〕海外展開検討時に懸念していたネットワークインフラについては大きな問題になり得ないが、既存の世界最大旅行サイトとサービスが競合する恐れがあることが分かった。しかし、現地市場は日本と共通している部分も多いと推察され、今後さらに詳細な調査を進め、既存の運用手法の見直しなどを含めて検討し、海外展開を図る。		
8	企業名	創生商事㈱ (浜松市中区)	確定額 500,000 円
	〔内容〕浜松発の自社ブランド家具製品の海外販路開拓に向けた市場調査		
	〔成果と今後〕現地のターゲット層に、自社製品のコンセプトやデザインが受け入れられることが分かった。また、輸出に係る規制についても把握することができた。今後、規制などの詳細な調査を進めるとともに、価格の見直しや有力な輸入業者の確保を行い、海外展開を進める。		
9	企業名	(有)まいさか丸三 (浜松市西区)	確定額 430,000 円
	〔内容〕浜松産品を用いた「しらす加工品」の海外販路開拓に向けた市場調査		
	〔成果と今後〕現地では当社商品と競合する商品はなく、国籍などに捉われず、幅広く受け入れられる食材であり、過去には流通していたことも分かった。今後、取扱いに関する規制の詳細な調査と、本調査によってコンタクトをとった卸売業者との交渉を進め、海外展開を図っていく。		
計			3,428,440 円

(2) アセアンレンタルオフィス賃借費補助金

浜松市内の中小企業者が、海外ビジネス展開を図るため、海外における製造・販売などの事業拠点の新設準備に際し、アセアン地域でレンタルオフィスを賃借することに対して補助金を交付する。

公募期間：[随時]平成 28 年 5 月 9 日（月）～平成 29 年 3 月 31 日（金）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 300 千円 ※1 か月最大 5 万円で最長 6 か月分

対象経費：①レンタルオフィス賃借費、②レンタルオフィスに付随するサービスのうち賃借費に含まれるもの（備品利用料、共有スペース利用料、光熱水費・電話回線利用料など）

申請件数：0 件

採択件数：0 件

事業期間：交付決定後～最長 6 か月間

交付決定額：0 千円

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
海外 F/S 補助金提案採択件数	8 件	9 件	6 件

レンタルオフィス補助金提案採択件数	一件	一件	1 件
-------------------	----	----	-----

【年度総括】

中小企業の海外展開支援をより充実させるため、平成 28 年度は海外 FS 補助金の増額に合わせ、レンタルオフィス補助金制度を創設した。創設にあたっては、申請状況で柔軟な予算執行が可能となるよう、海外ビジネス展開支援における予算流用を見据えた制度設計とした。

海外 FS 補助金は、予算 8 枠に対し 9 件の申請があったため、予算流用を調整の上、全件採択を行ったが、1 社から海外展開を効果的に実施することを理由に「事業中止」の申し出があり、採択を取り消しとした。採択企業に対しては、執行管理や事務処理指導をする中で効果的な補助金活用となるよう支援を行った。

また、レンタルオフィス補助金は、情報発信に努めたため、問合せはあるものの申請までには至らなかった。

平成 29 年も引き続き、平成 28 年度に採択された企業に対してフォロー支援を実施するとともに、次年度の海外展開支援に向け事業整備を行っていく。

2 8 地場産業振興事業

決算額 7,904,972 円（予算額 8,759 千円）＜自主財源＞

【目的】

繊維製品の普及、拡大を図るための各種見本市への出展支援や、二輪車製造業及びオートバイ文化の振興を目的とした、「バイクのふるさと浜松」開催にかかる事務局運営を行い、浜松地域の地場産業の振興を図る。

【実施内容】

(1) 繊維製品の普及拡大

静岡県、浜松市等との共催により、繊維製品の普及拡大のため以下の事業についての開催支援を行った。

ア ハママツ・コレクション事業

(ア) 高機能素材ワールド

開催日：平成 28 年 4 月 6 日（水）～8 日（金）

会 場：東京ビックサイト（東京都江東区）

内 容：高機能繊維（CFRP など）の用途開発を推進するため展示商談会

出展社数：1 社 サカイ産業㈱（島田市）

来場者数：352 名

取引依頼件数：19 件

(イ) プレミアムテキスタイルジャパン

会 場：東京国際フォーラム

内 容：浜松テキスタイルを国内外の繊維関係者に PR するため展示商談会

＜2017 Spring/Summer＞

開催日：平成 28 年 5 月 24 日（火）～25 日（水）

出展社数：3 社 (有)コヤマインターナショナル（浜松市中区）、山崎テキスタイル
 ㈱（浜松市中区）、古橋織布(有)（浜松市西区）

来場者数：831 名

サンプル依頼件数：421 件

<2017 Autumn/Winter>

開催日：平成28年11月29日（火）～30日（水）

出展社数：1社 古橋織布(有)（浜松市西区）

来場者数：210名

サンプル依頼件数：104件

<JFW ジャパンクリエーション 2017>

開催日：平成28年11月29日（火）～30日（水）

出展社数：1社 日本形染(株)（浜松市中区）

来場者数：28名

サンプル依頼件数：78件

(ウ) 東京インターナショナル・ギフトショー2016（ギフト国際見本市）

開催日：平成28年9月7日（水）～9日（金）

会 場：東京ビッグサイト

出展社数：3社 (有)マサル織布（浜松市浜北区）、杉浦テキスタイル(株)
（浜松市東区）、辻村染織(有)（浜松市東区）

来場社数：129社

サンプル依頼件数：76件

東京インターナショナル・ギフトショー2017（ギフト国際見本市）

開催日：平成29年2月8日（水）～10日（金）

会 場：東京ビッグサイト

出展者数：4社 (有)マサル織布（浜松市浜北区）、杉浦テキスタイル(株)
（浜松市東区）、辻村染織(有)（浜松市東区）、滝本織布(有)
（浜松市浜北区）

来場社数：98社

サンプル依頼件数：16件

(エ) 遠州織物コレクションの開催

県繊維協会傘下の企業及び組合が、専門のコーディネーター及びデザイナーと協働して、高品質の商品を開発し、東京において展示、商談を行う産地単独展示商談会「遠州織物コレクション」を組合と一体となって開催した。

開催日：平成29年2月23日（木）、24日（金）

会 場：文化ファッションインキュベーション（東京都渋谷区）

出展者数：2組合（遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合）、11社

来場者数：183名

サンプル依頼件数：123件

イ ゆかた振興事業

「注染・ゆかた・和装展」の開催

開催日：平成28年7月2日（土）～3日（日）、8月6日（土）～7日（日）

会 場：ギャラリーモールソラモ

内 容：注染・ゆかた・和装製品の展示・発表、浜松注染の実演・体験、浜松工業技術支援センター成果発表

来場者数：1,200名（7月）、800名（8月）

ウ 新製品展示紹介事業

(ア) 福岡ギフトショー

開催日：平成28年6月6日（月）～8日（水）

会 場：マリンメッセ福岡

内 容：高付加価値製品や機能加工製品の展示・商談

出展社数：3 社 古橋織布(有) (浜松市西区)、滝本織布(有) (浜松市浜北区)、
(有)マサル織布 (浜松市浜北区)

来場者数：33 名

取引依頼件数：12 件

(イ) 綿の産地フェアの開催

開催日：平成 28 年 10 月 29 日 (土)

会 場：浜松市総合産業展示館

内 容：地産地消のモデル事業として、地域住民を対象とした、遠州産地の
新製品・特化製品の展示・販売・アンケート調査

来場者数：1,800 名

エ マーケティング支援事業

(ア) TN Japan 東京展

開催日：平成 28 年 5 月 12 日 (木) ～13 日 (金)

会 場：東京北青山テピア

内 容：薄地で独特の風合いを持った高密度織物を出展 (1 社)、シャツ地
(武襯衣のシャツ等) を出展 (1 社)

出展社数：2 社 古橋織布(有) (浜松市西区)、杉浦テキスタイル(株) (浜松市
東区)

来場者数：94 名

サンプル依頼件数：159 件

(イ) TN Japan 東京展

開催日：平成 28 年 11 月 17 日 (木) ～18 日 (金)

会 場：東京渋谷文化ファッションインキュベーション

内 容：薄地で独特の風合いを持った高密度織物を出展 (1 社)、先染織物
を出展 (1 社)

出展社数：2 社 古橋織布(有) (浜松市西区)、杉浦テキスタイル(株) (浜松市
東区)

来場者数：132 名

サンプル依頼件数：108 件

オ 浜松シティファッションコンペ

1 次審査：平成 28 年 9 月 12 日 (月)

最終審査：平成 28 年 12 月 18 日 (日)

会 場：えんてつホール

内 容：浜松地域の綿関連素材を用いた作品づくりを通じて、次世代を担うク
リエイターと繊維業界との有機的な関係を構築すると共に、綿織物産
地「浜松」の情報を広く発信し繊維産業の振興を図った。

来場者数：350 名

カ 地場産業の振興・発信事業

NHK 連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の放映により、浜松の繊維産地が注目さ
れたことから、繊維産業、浴衣産業の振興を目的に展示やイベントを実施した。

・浴衣干し場展示 (7 月、8 月注染・ゆかた・和装展会場にて実施)

- ・「浴衣でほろ酔い」（8/3 浜松バルに合わせ、浴衣着付けイベントを実施）
- ・浴衣生地展示（7～8月に市内ホテルロビーで浴衣生地展示を実施）

(2)「バイクのふるさと浜松 2016」の事務局運営

オートバイの魅力や文化の発信等を目的とする「バイクのふるさと浜松」の事務局運営を担い、イベント開催に向け関係機関との調整や実行委員会を開催した。

ア「バイクのふるさと浜松 2016」

開催日：平成 28 年 8 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場：浜松市総合産業展示館

内 容：交通安全宣言パレードラン、最新モデルの展示、バイク販売店コーナー、親子バイクスクール、ステージイベント、トライアルデモンストラーション等

来場者数：22,500 名

イ「バイクのふるさと浜松 in 学園祭（碧風祭）」

開催日：平成 28 年 11 月 5 日（土）～6 日（日）

会 場：静岡文化芸術大学

内 容：大学生など新規の二輪利用者に対して、バイクの魅力の発信と交通安全の啓発を行うため、学園祭に出展

来場者数：1,276 名

ウ「二輪車交通安全講習会 in 静岡大学」

開催日：平成 28 年 12 月 8 日（木）

会 場：静岡大学 浜松キャンパス

内 容：大学生のバイク通学者に車両点検・点検指導・アドバイスをを行うことで、より安全・快適にバイクに乗車いただくため、大学に出向き交通安全講習会及び車両点検を実施

来場者数：（講習会）80 名 （車両点検）44 台

エ「大阪モーターサイクルショー2017」

開催日：平成 29 年 3 月 18（土）、19 日（日）20 日（月・祝）

会 場：インテックス大阪 1 号館、2 号館

内 容：バイクのふるさと浜松 2017 のチラシ配布、往年の名車（ライラック）及びバイク部品メーカー製造の新素材車イスを展示するとともに、バイクの街・浜松を PR

来場者数：66,244 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
①ハママツ・コレクション事業取引依頼件数※3	945 件	858 件	1,500 件
②マーケティング支援事業取引依頼件数	113 件	267 件	100 件
③バイクのふるさと来場者数	22,000 名	22,500 名	24,000 名

※1：プレミアムテキスタイルジャパンとギフトショー、遠州織物コレクションの数値合計

【年度総括】

繊維産業の振興事業として、展示会への出展支援を行うとともに「浜松シティファッションコンペ」を開催支援し、浜松繊維産地を PR した。

「バイクのふるさと浜松 2016」については内容をリニューアルし、幅広い客層に楽しんでいただける内容となったことで、来場者に好評であった。また、「静岡文化芸術大学学園祭」及び「静岡大学浜松キャンパス」に出向き、若者へのバイク産業の PR 及び普及啓発を行った。

平成 29 年度をもって、当事業の財源となる地場産業振興基金が枯渇するため、平成 30 年度以降の地場産業振興事業を関係機関と協議・調整するとともに、今後に繋げる取り組みを展開していく。

参 考 資 料

表記は全て平成 29 年 3 月 31 日現在

財 団 の 運 営

1 基本財産及び基金

(単位：千円)

基本財産・基金 出捐者	基本財産	債務保証基金	計
浜松市	430,000	113,000	543,000 (56.2%)
静岡県	60,000	113,000	173,000 (17.9%)
民間企業等	115,700	134,000	249,700 (25.9%)
計	605,700	360,000	965,700 (100.0%)

2 役員及び委員

(1) 理事・監事（定款第 22 条）

区 分	氏 名	所 属	役 職
理事長	岡部 比呂男	ヤマハ株式会社	顧問
副理事長	山崎 勝康	天方産業株式会社	常任アドバイザー
専務理事	増田 洋介	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	専務理事
理 事	木村 隆昭	ヤマハ発動機株式会社	代表取締役副社長 執行役員
〃	木村 雅和	静岡大学	理事・副学長 イノベーション社会連携推進機構長
〃	高橋 正典	浜松信用金庫	常務理事
〃	仲野 哲央	中部ガス株式会社	取締役浜松支店長 兼 磐田営業所長
〃	原 勉	浜松ホトニクス株式会社	常務取締役 中央研究所長
〃	古橋 敏明	一般社団法人静岡県繊維協会	会長
〃	牧田 春光	株式会社河合楽器製作所	取締役執行役員素材加工事業統括部長 兼 金属事業部長
〃	山本 清二	浜松医科大学	理事（教育・産学連携担当）副学長
〃	太田 毅	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	事務局長
監 事	山内 致雄	株式会社電興社	代表取締役社長
〃	中野 純	中野純公認会計士・ 税理士事務所	所長

(2) 評議員（定款第12条）

区 分	氏 名	所 属	役 職
評議員	石川 晃三	株式会社ソミック石川	代表取締役会長
〃	井上 光輝	豊橋技術科学大学	理事 副学長
〃	大石 勝彦	静岡県経済産業部	商工業局長
〃	加藤 義章	光産業創成大学院大学	学長
〃	小杉 和弘	浜松商工会議所	専務理事 事務局長
〃	佐藤 洋一	浜松市	産業部長
〃	白井 卓也	中部電力株式会社	静岡支店 浜松営業所長
〃	杉田 光秀	株式会社静岡銀行	常務執行役員 西部カンパニー長
〃	野口 博	静岡理工科大学	学長
〃	服部 貴應	株式会社エヌエスティー	代表取締役社長
〃	松本 好司	天方産業株式会社	常任顧問
〃	守田 泰男	遠州信用金庫	理事長

3 会議

(1) 理事会

①平成 28 年度 第 1 回理事会

議決方法 書面決議

議決日 平成 28 年 4 月 1 日 (金)

審議事項 議案第 1 号 事務局長承認の件

②平成 28 年度 第 2 回理事会

開催日時 平成 28 年 6 月 9 日 (木) 15:00～16:30

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 7 名

審議事項 第 1 号議案 平成 27 年度 事業報告承認の件

第 2 号議案 平成 27 年度 収支決算承認の件

(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)

第 3 号議案 平成 28 年度 第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報告第 1 号 役員の報酬等に関する規程の一部改定について

報告第 2 号 任期満了に伴う理事及び監事の選任について

報告第 3 号 任期満了に伴う評議員の選任について

③平成 28 年度 第 3 回理事会

議決方法 書面決議

議決日 平成 28 年 6 月 24 日 (金)

審議事項 第 1 号議案 代表理事 (理事長) 1 名選定の件

第 2 号議案 副理事長 1 名選定の件

第 3 号議案 専務理事 1 名選定の件

④平成 28 年度 第 4 回理事会

議決方法 書面決議

議決日 平成 28 年 8 月 5 日 (金)

審議事項 第 1 号議案 半田山 T B G (テクノビジネスゲート) を学校法人イーエーエス伯人学校
に無償譲渡の件

⑤平成 28 年度 第 5 回理事会

開催日時 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 13:30～15:00

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 10 名

審議事項 第 1 号議案 平成 28 年度 収支補正予算承認の件

第 2 号議案 平成 28 年度 第 3 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報告第1号 平成28年度 上半期の職務執行の状況について

報告第2号 評議員の候補者について

⑥平成28年度 第6回理事会

開催日時 平成29年2月24日（金） 13:30～15:00

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 7名

審議事項 第1号議案 平成29年度 事業計画の件

第2号議案 平成29年度 収支予算の件

第3号議案 半田山TBG（テクノビジネスゲート）施設使用要綱の廃止の件

第4号議案 平成28年度 第4回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報告第1号 役員の報酬等に関する規程の改定について

(2) 評議員会

①平成 28 年度 第 1 回評議員会

開催日時 平成 28 年 6 月 24 日 (金) 10:00～11:30

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 7 名

審議事項 報告第 1 号 平成 27 年度 事業報告について

第 1 号議案 平成 27 年度 収支決算承認の件
(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)

第 2 号議案 役員の報酬等に関する規程の一部改定の件

第 3 号議案 任期満了に伴う評議員選任の件

第 4 号議案 任期満了に伴う理事選任の件

第 5 号議案 任期満了に伴う監事選任の件

②平成 28 年度 第 2 回評議員会

議決方法 書面決議

議決日 平成 28 年 8 月 5 日 (金)

審議事項 第 1 号議案 半田山 T B G (テクノビジネスゲート) を学校法人イーエーエス伯人学校
に無償譲渡の件

③平成 28 年度 第 3 回評議員会

開催日時 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 15:30～17:00

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 10 名

審議事項 第 1 号議案 評議員選任の件

第 2 号議案 平成 28 年度 収支補正予算承認の件

報告第 1 号 平成 28 年度 上半期の職務執行の状況について

④平成 28 年度 第 4 回評議員会

開催日時 平成 29 年 3 月 2 日 (木) 15:30～17:00

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 10 名

審議事項 第 1 号議案 平成 29 年度 事業計画の件

第 2 号議案 平成 29 年度 収支予算の件

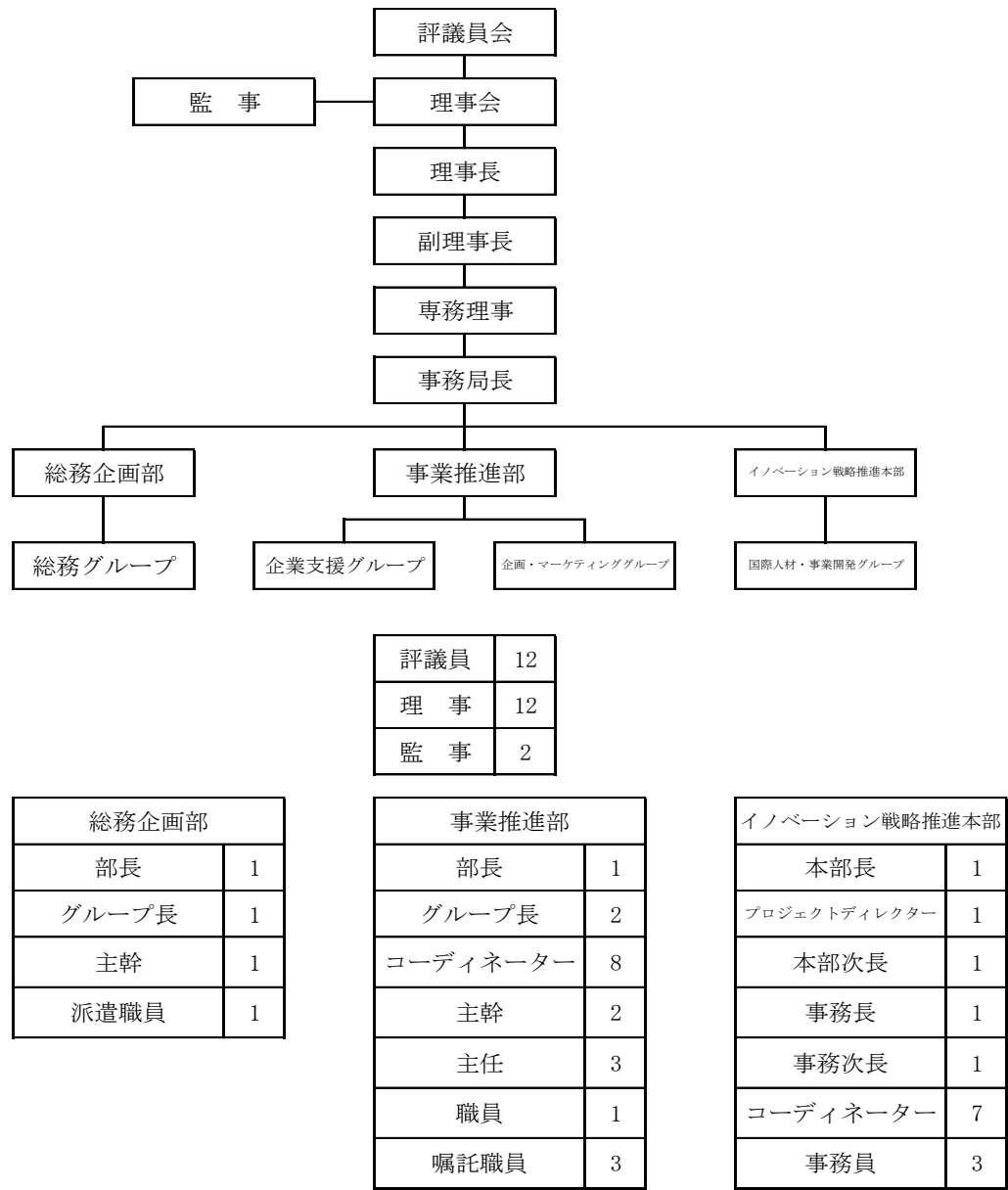
第 3 号議案 役員の報酬等に関する規程の改定の件

5 賛助会員

所 属	役 職	氏 名	住 所
日星電気株式会社	代表取締役会長	河野 勝男	浜松市西区大久保町 1509
株式会社呉竹荘	代表取締役社長	山下 智司	浜松市中区東伊場 1-1-26
グランドホテル浜松	総支配人	石川 仁	浜松市中区東伊場 1-3-1
協同組合テクノランド細江	理事長	山本 純夫	浜松市北区細江町中川 7000-1
株式会社平安コーポレーション	代表取締役	鈴木 通友	浜松市北区新都田 1-5-2
パルステック工業株式会社	代表取締役社長	鈴木 幸博	浜松市北区細江町中川 7000-35
株式会社高井製作所	代表取締役	高井 理恵	浜松市東区有玉南町 1168
エンシュウ株式会社	代表取締役社長	土屋 隆史	浜松市南区高塚町 4888
株式会社エヌエスティー	代表取締役社長	服部 貴應	浜松市北区新都田 4-3-1
中野純公認会計士・税理士事務所	所長	中野 純	磐田市今之浦 4-17-10
株式会社遠鉄トラベル	代表取締役社長	宮田 洋	浜松市中区旭町 12-1 遠鉄百貨店 12 階
株式会社ユニバンス	代表取締役社長	村松 通泰	湖西市鷺津 2418
やまと興業株式会社	代表取締役社長	小杉 昌弘	浜松市浜北区横須賀 1136
株式会社電興社	代表取締役社長	山内 致雄	浜松市南区卸本町 95
東海電子印刷株式会社	代表取締役社長	伊藤 均	浜松市南区若林 888-122
丸紅株式会社	浜松支店長	余部 俊也	浜松市中区砂山町 353-8
国本工業株式会社	代表取締役社長	國本 幸孝	浜松市東区貴平町 320

6 事務局体制

[組織図]





公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation